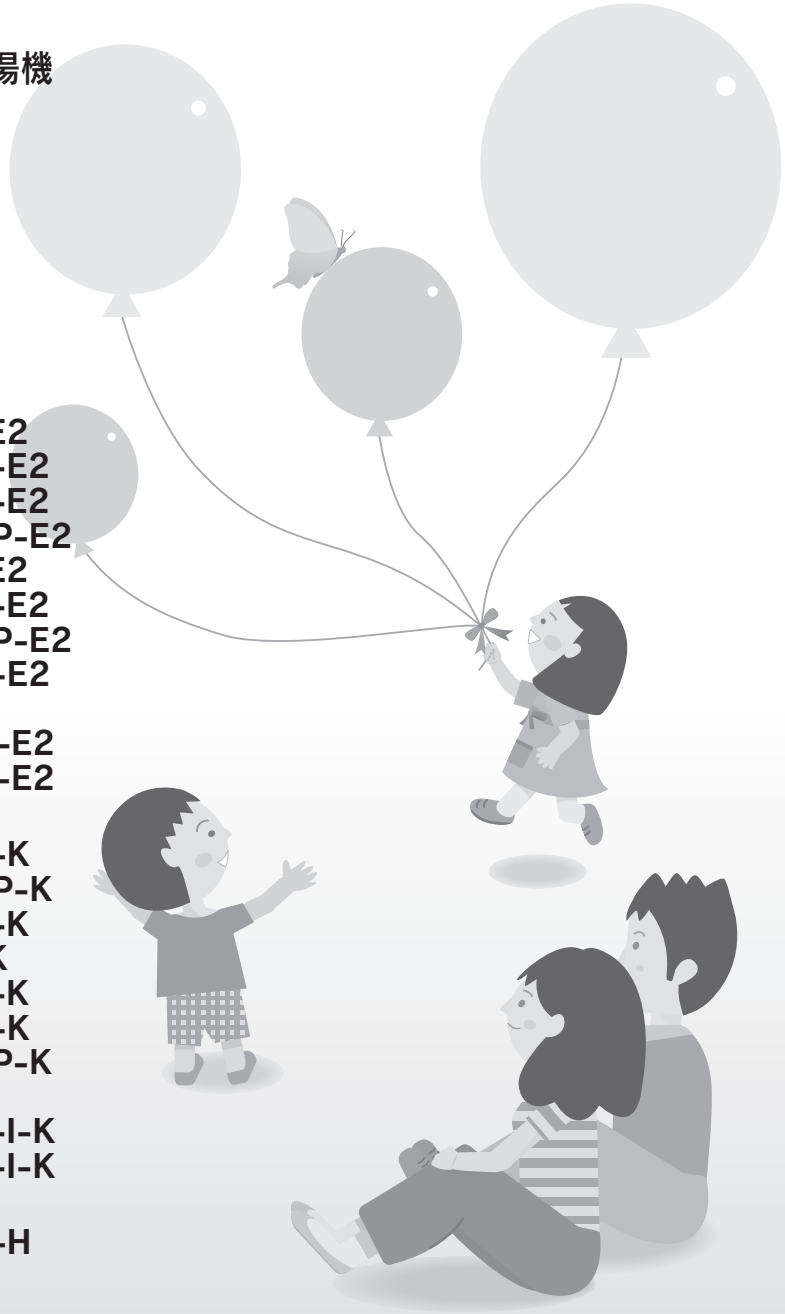
CHOFU

自然冷媒(CO_2)家庭用ヒートポンプ給湯機

エコキュート

本体取扱説明書



形名(システム形名)

[一般地仕様]
EHP-3702A
EHP-3702AE
EHP-3702AX
EHP-3702AZ
EHP-3702AZP
EHP-3702AZPS
EHP-3702BA
EHP-3702BX
EHP-3702BZPS
EHP-3702CXP
EHP-4602B
EHP-4602BA
EHP-4602BE
EHP-4602BX
EHP-4602BZ
EHP-4602BZP
EHP-4602BZPS
EHP-4602CXP
EHP-5502BZ
●井戸水対応
EHP-3702BX-I
EHP-4602BX-I
●漏水検知対応
EHP-3702BX-M

保証書別添付

[耐重塩害地仕様]
EHP-3702A-E2
EHP-3702AX-E2
EHP-3702BX-E2
EHP-3702CXP-E2
EHP-4602B-E2
EHP-4602BX-E2
EHP-4602CXP-E2
EHP-5502BZ-E2
●井戸水対応
EHP-3702A-I-E2
EHP-4602B-I-E2
[寒冷地仕様]
EHP-3702AZ-K
EHP-3702AZP-K
EHP-3702BX-K
EHP-4602B-K
EHP-4602BX-K
EHP-4602BZ-K
EHP-4602BZP-K
●井戸水対応
EHP-3702BX-I-K
EHP-4602BX-I-K
[浸水対応仕様]
EHP-3702AZ-H

ご使用前のお願い

●本書にはリモコンの操作説明は記載されていません。
リモコンに付属している「**取扱説明書**」と併せてお読みください。

このたびは長府製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

●このヒートポンプ給湯機は電気料金の割引が適用されます。
お買い求めの販売店にご相談のうえ、お早めに最寄りの電力会社にお申し出ください。

●ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
●保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
●電力会社により昼夜間の時間帯区分が異なりますので、詳しい内容については最寄りの電力会社にお問い合わせください。
●製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

20840145 (K)

取扱説明書をお読みになる前に

機器のタンク形状・機能タイプ・リモコンのタイプを確認してください。



□太枠内に英数字や✔(チェックマーク)を記入しておくと、今後お読みになるときに役立ちます。

タンク形状・機能タイプ・リモコンのタイプは？

●本書では必要な項目で機器のタンク形状・機能タイプ・リモコンのタイプを記載して説明しています。

1 貯湯ユニット前パネルの銘板に表示している形名を確認してください。



2 確認した形名からタンク形状と機能タイプを確認してください。

貯湯ユニット形名：ET-□□02□□□□-□□□□□

数字(2文字)　英字(1文字)　英字(0～3文字)　記号・英数字(0～5文字)

タンク形状

Aが入っている	□ スリムタイプ
Bが入っている	□ 角型タイプ
Cが入っている	□ 薄型タイプ

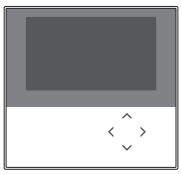
機能タイプ

I(アイ)が入っている	□ 井戸水対応
Hが入っている	□ 浸水対応仕様

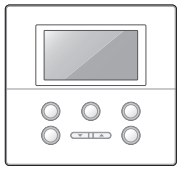
Aが入っている	□ オート
Eが入っている	□ eオート
Xが入っている	□ フルオート
Zが入っている	□ ecoとくフルオート
上記に該当なし	□ 給湯専用

3 ご自宅の台所リモコンでリモコンのタイプを確認してください。(スイッチの形が特徴となります。)

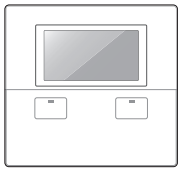
□ カラー液晶リモコン



□ インターホンリモコン



□ 音声リモコン



イラストはイメージです。

もくじ

ページ

ご使用の前に

取扱説明書をお読みになる前に……2
安全上の注意……4
各部の名称（外観図）……8

必要なときに

日常の点検・手入れのしかた……10
定期点検……14
1ケ月以上使用しないとき……14
地震などの被害にあったとき……14
水抜き後の再使用方法……15
（エア抜き試運転）……16
凍結のおそれがあるとき
（凍結予防）……18
（凍結したとき）……19
断水したとき……20
停電したとき……20
断水したときや非常時にお湯を取出す……21
故障かな？と思ったら
（修理を依頼する前に）……23
（ふろ試運転）……28
（エラーコード）……30
仕　様……32
長府製作所延長保証制度(有料)について……40
アフターサービス……裏表紙

「リモコンの操作方法と機能設定」はリモコンに付属している取扱説明書で説明しています。

困ったときは？

凍結を予防したい
18ページ

エコキュートの動きがいつもと違う
23～27ページ

お手入れはどうしたらいいの？
10～13ページ

リモコンにエラーコードが出ている！
30・31ページ



安全上の注意（必ずお守りください）

●本書では、人への危害や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を次のように分類して記載していますので、必ずお守りください。

⚠警告	人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容です。	⚠注意	人が軽傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容です。

⚠警告

●分解・修理・改造をしない
火災・感電・漏電の原因になります。
機器内の点検や修理はお買い求めの販売店にご連絡ください。

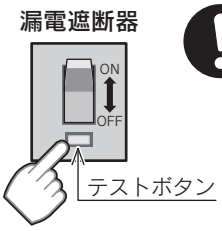
●機器の近くにガス類や引火性危険物を置かない
火災の原因になります。

●貯湯ユニットの前パネルやヒートポンプユニットの配管カバーを開けない
感電の原因になります。

●アース工事がされていることを確認する
故障や漏電のときに感電の原因になります。
不具合があるときはお買い求めの販売店にご連絡ください。

●漏電遮断器は濡れた手で操作しない
感電の原因になります。

●漏電遮断器の作動を定期的に確認する
故障したまま使用すると火災や感電の原因になります。
作動しないときはお買い求めの販売店にご連絡ください。11ページ



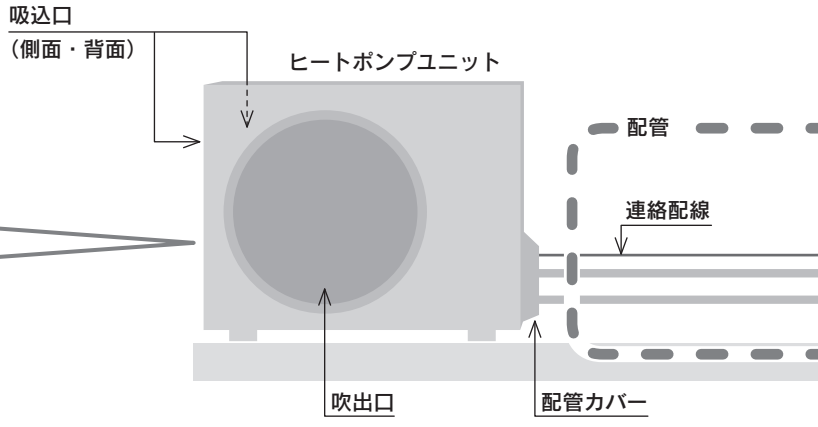
子どもに注意する
思わぬ事故の原因になります。

●子どもをおふろにもぐらせない

●子どもを浴室で遊ばせない

●子どもだけで入浴させない

●ヒートポンプユニットの吸込口や吹出口に指や棒を入れない
けがの原因になります。



熱湯やあつくなる部分に手を触れない

●給湯時は混合水栓に手を触れない
やけどの原因になります。

●取水時・排水時は熱湯に注意し、お湯に手を触れない
やけどの原因になります。

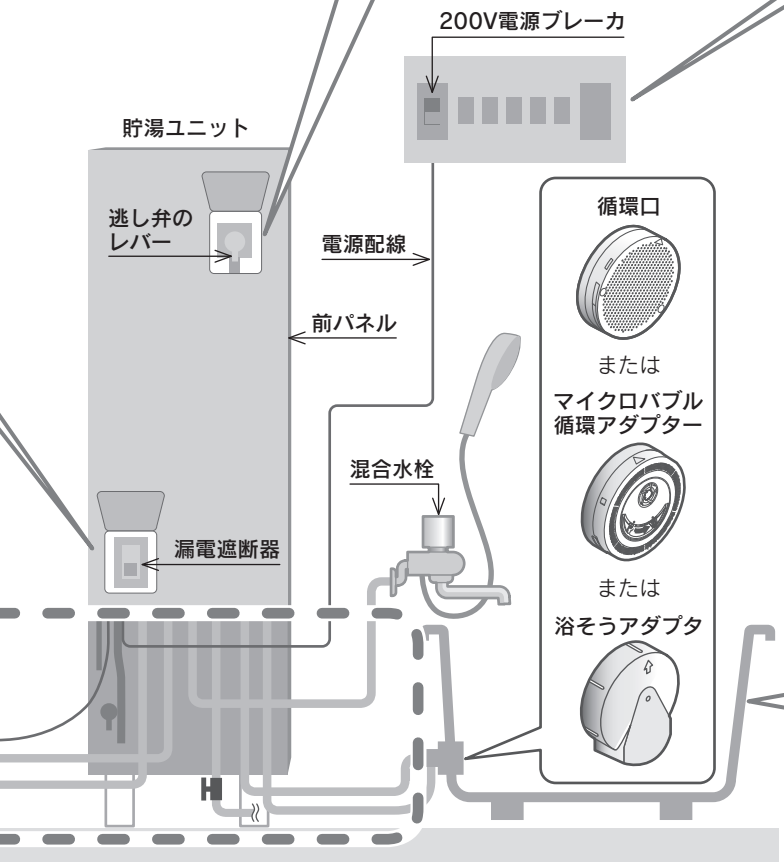
●給湯配管やヒートポンプ配管に触れない
やけどの原因になります。

●電源配線や連絡配線に無理な力を加えない
重い物を載せたり、引張ったりしないでください。破損して火災や感電の原因になります。

●加工したり束ねたまま使用したりしない
火災や感電の原因になります。

●お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

	禁止 「**してはいけない**」内容です。		実行 「**しなければならない**」内容です。



●逃し弁のレバーは急に上げない

逃し弁の排水ホースから熱湯が出ることがあるため、やけどの原因になります。

●逃し弁の点検時は、逃し弁周辺の配管などに手を触れない

やけどの原因になります。

●異常時（こげくさいなど）は200V電源ブレーカを「切」にする

異常のまま使い続けると、火災・感電・故障の原因になります。
すぐにお買い求めの販売店にご連絡ください。

入浴時は次の事をしない

給湯専用は除く 2ページ

（マイクロバブル循環アダプターまたは浴そうアダプタを取付けている場合、「**循環口**」が「**マイクロバブル循環アダプター**」または「**浴そうアダプタ**」になります。）

●循環口を手・足・タオルなどでふさがない

故障の原因になります。

●おふろにもぐらない

事故の原因になります。

●循環口フィルタが緩んだりはずれたまま使用しない

髪の毛が吸い込まれるなど事故・故障・けがの原因になります。特に小さなお子様には注意してください。

●ふろ自動中・高温たし湯中・あつめ中・追いだき中は、循環口に近づかない

循環口から熱いお湯が出るため、やけどの原因になります。

●浴そうにお湯がないときは、あつめ（高温たし湯）を行わない

やけどの原因になります。
浴そうや循環口のお手入れを行うときは、特に注意してください。

お湯の温度を確認する

●シャワー使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変えない

使用者以外の人がお湯の温度を変えたり、「**優先**」を切換えたりすると、突然熱湯や冷水が出て、やけどや思わぬ事故の原因になります。

●入浴時やシャワー使用時は、必ず手でお湯の温度を確かめる

やけどの原因になります。

●停電中および復帰後にお湯を使うときはお湯の温度を確かめる

熱いお湯が出ることがあるため、やけどの原因になります。

●給湯温度を変更するときは他の場所でお湯を使用していないことを確認してから行う

やけどの原因になります。

安全上の注意（必ずお守りください）

⚠注意

ヒートポンプユニットに関する注意

●設置台が傷んだ状態で使用しない
落下や転倒などによるけがの原因になることがあります。

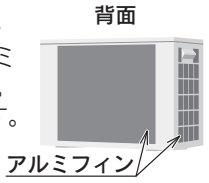
●吸込口や吹出口をふさがない
能力低下や故障の原因になることがあります。

●機器の下や周囲に濡れて困る物を置かない
ドレン水により濡れる原因になることがあります。

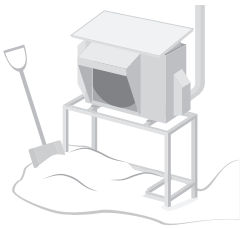
●動植物に風を直接あてない
動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

●上に乗ったり、物を載せたりしない
落下や転倒などによるけがの原因になることがあります。

●アルミフィンに触れない
側面や背面の吸入口からアルミフィンに触れないでください。けがの原因になることがあります。



●除雪を行う
積雪で吸込口や吹出口がふさがれると、能力低下の原因になることがあります。



●機器周囲のゴミや落ち葉を掃除する
吸込口がつまると能力低下の原因になることがあります。
また落ち葉などがあると、小動物が侵入して発火・発煙・故障の原因になることがあります。

お手入れ時や点検時は次の事を行う

●漏電遮断器を「OFF」にする
「ON」にしたままお手入れや点検を行うと感電の原因になることがあります。

●お手入れや点検後は操作部や点検口のふたは必ず閉じる
雨やゴミが入ると感電・ショート・漏電の原因になることがあります。

●逃し弁の作動確認を定期的にする
逃し弁が正しく作動しないと水漏れの原因になることがあります。
作動しないときはお買い求めの販売店にご連絡ください。11ページ

●凍結のおそれがあるときは、漏電遮断器を「OFF」にしない
（機器内の水を抜く場合は除く）
配管が凍結して水漏れの原因になることがあります。

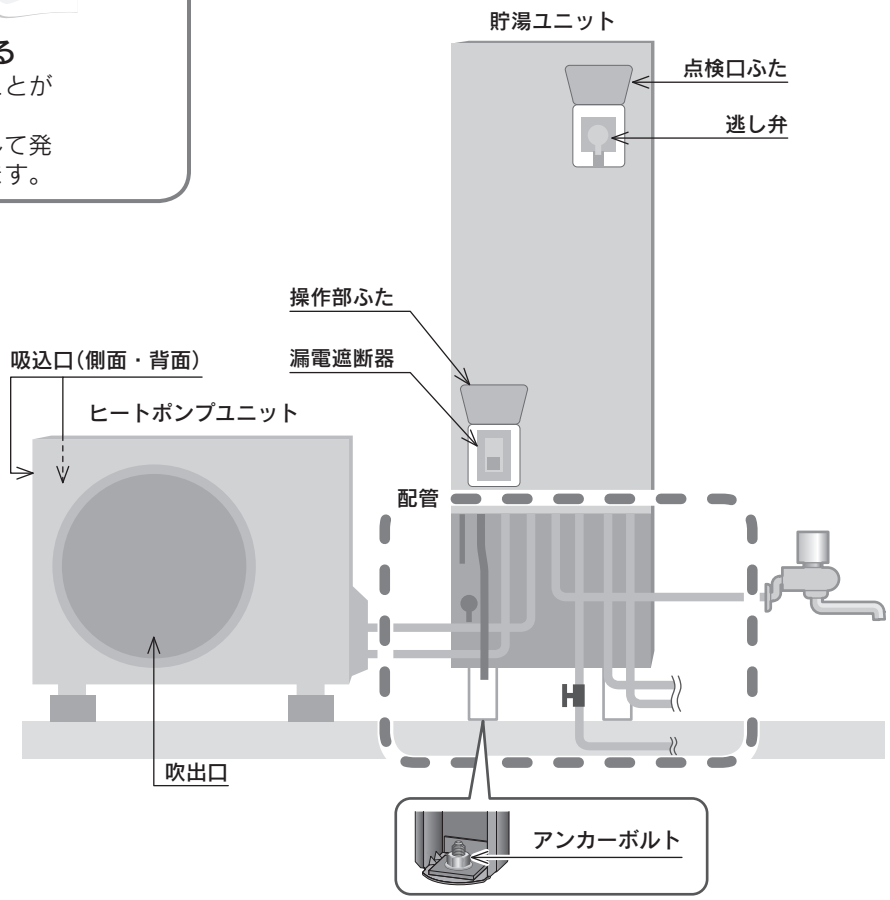
●1ケ月以上使用しないときは機器の水抜きを行う
長期間タンクにたまった水は、水質変化により健康を害する原因になることがあります。
お買い求めの販売店に水抜きを依頼してください。

●機器や配管に無理な力を加えない
貯湯ユニットやヒートポンプユニットの上に乗ったり、配管をゆらしたりすると破損や転落事故の原因になることがあります。

●熱湯の排水禁止
タンクのお湯は冷めてから排水しないと、やけどの原因になることがあります。

●水洗いしない
漏電による火災や感電の原因になることがあります。

●子どもを機器の周囲で遊ばせない
思わぬ事故の原因になることがあります。



機器内のお湯(水)について

●機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は飲用したり調理に使用したりしない

水質の変化により健康を害する原因になることがあります。
雑用水として使用してください。

●飲用したり調理に使用したりするときは沸騰させてから使用する

沸騰させずに使用すると健康を害する原因になることがあります。
熱いお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている水)は、雑用水として使用してください。
固形物・変色・濁り・異臭があった場合は、飲用しないですぐにお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

据付後は次の事を確認する

●貯湯ユニットの脚がアンカーボルトで固定されていること

地震などにより貯湯ユニットが転倒してけがや事故の原因になることがあります。固定されていない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

●防水処理・排水処理済みの床面に設置されていること

水漏れによる被害のおそれがあります。お買い求めの販売店にご確認・ご依頼ください。

●配管に凍結予防がされていること

凍結して破損すると水漏れの原因になることがあります。
お買い求めの販売店にご確認・ご依頼ください。

お願い

入浴をするときの注意

給湯専用は除く 2ページ

●入浴剤や洗剤に注意する

温泉水・イオウ・酸・アルカリ・油分を含んだ入浴剤や洗剤は、貯湯ユニットや配管の腐食などの原因になることがあります。使用しないでください。

●浴そう内ではミカンやレモンなどを浮かべたり、石けんやボディーシャンプーを使用したりしない

次回使用時に泡が出るなどの故障の原因になることがあります。
ポプリなどを使用する場合は、袋などに入れて使用してください。

湯切れに注意

●シャワーを使うときや洗い物をするときは、お湯をこまめに止めて使用する

お湯を出したままにすると湯切れの原因にになることがあります。

混合水栓について

●通水抵抗が少ない物、シャワーヘッドの圧力損失が少ない物を使用する

出湯量減少の原因になることがあります。

●水圧が低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しない

●サーモスタット付混合水栓の使用を推奨

熱いお湯が出て、やけどの原因になることがあります。

水漏れの確認

●機器・配管・おふろの循環口またはマイクロバブル循環アダプターまたは浴そうアダプタなどから水漏れがないことを確認する

●水道水を使用する

井戸水対応型は除く 2ページ

水道水以外を使用した場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

●上水道または水道法による水質基準に適合した井戸水を使用する

井戸水対応型の場合

上水道または水道法による水質基準に適合した井戸水以外を使用した場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

落雷のおそれがあるときの処置

●200V電源ブレーカを「切」にする

雷が発生したときは200V電源ブレーカを「切」にしてください。一時的な過電圧で電子部品を損傷する原因になることがあります。雷がやんだ後は「入」にしてください。

●夜間時間帯のお湯の使用について

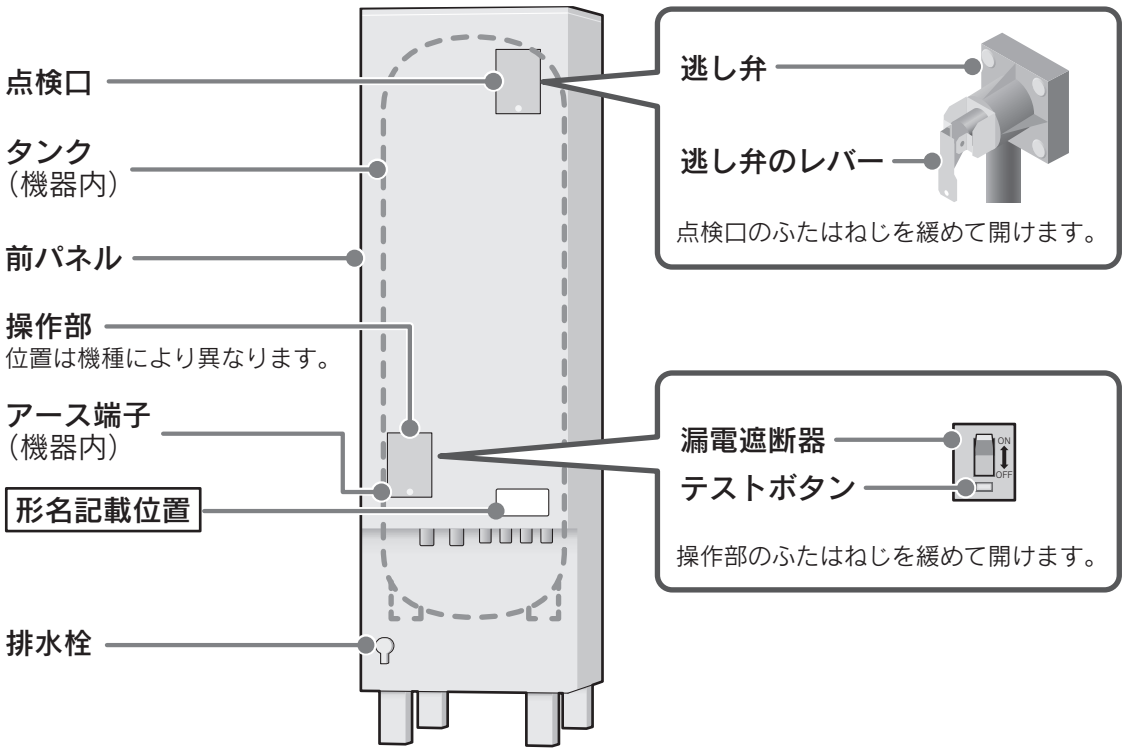
エコキュートは夜間時間帯にお湯を沸かしますので、夜間時間帯にお湯を使用すると、翌日お湯が足りなくなることがあります。
(昼間に沸き増しを行うと電気代が高くなる場合があります。)

各部の名称

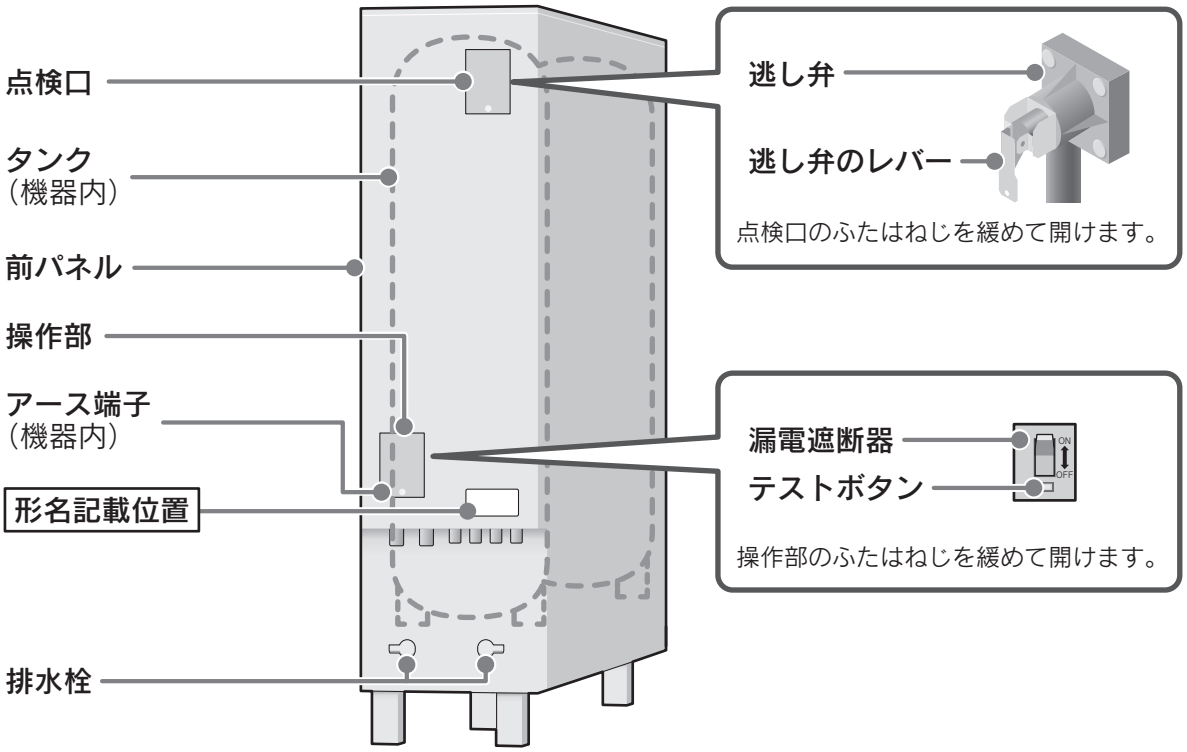
外観図　イラストはイメージです。

貯湯ユニット

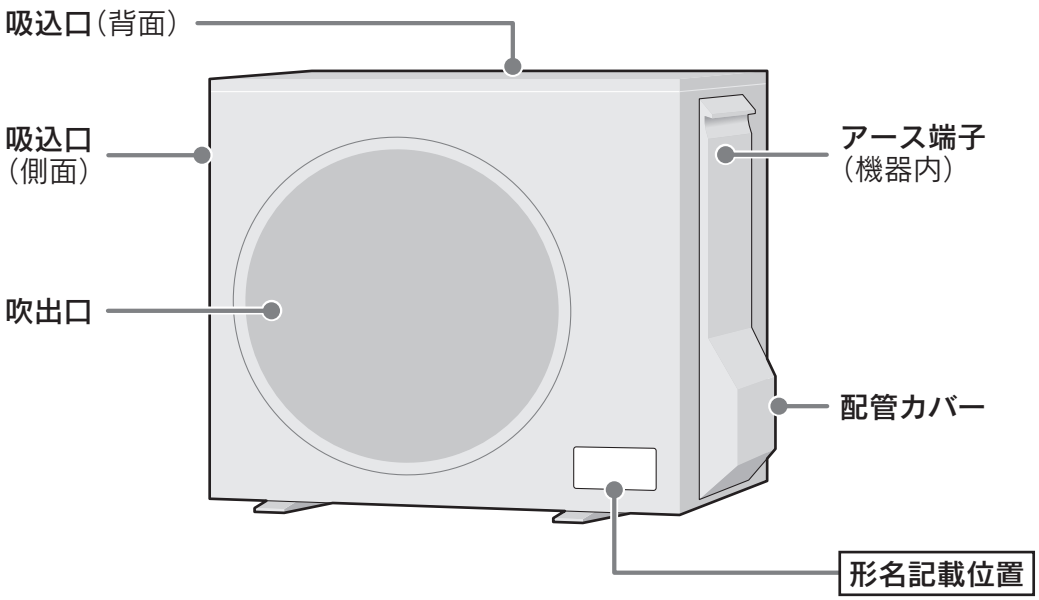
スリムタイプ・角型タイプ 2ページ



薄型タイプ 2ページ



ヒートポンプユニット

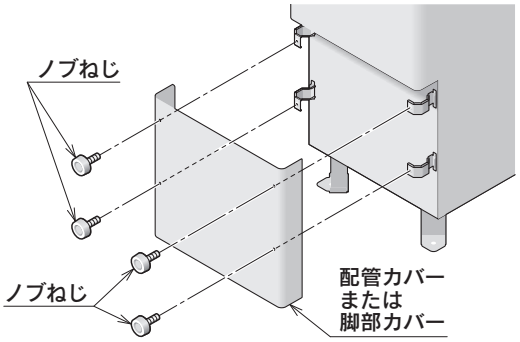


日常の点検・手入れのしかた

⚠注意

- ●手袋などの保護具を着用してください。
- ●部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- ●異常がある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
- ●前パネルは開けないでください。

配管カバーまたは脚部カバーを取付けている場合



ノブねじ(4本)をはずして配管カバーまたは脚部カバーを取りはずしてから点検・手入れを行ってください。
点検・手入れが終わったら元通りに取付けてください。

毎日

水漏れの確認

機器・配管・おふろの循環口またはマイクロバブル循環アダプターまたは浴そうアダプタなどから水漏れしていないことを確認してください。集合住宅での水漏れは階下に被害をおよぼします。
(沸き上げ中は逃し弁の排水ホースから膨張水が出ます。)

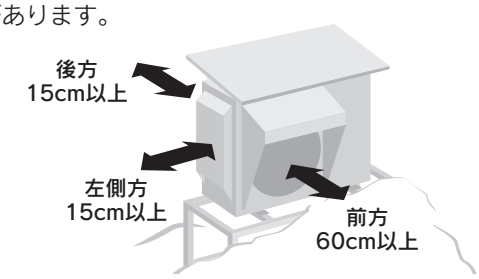
周囲の確認

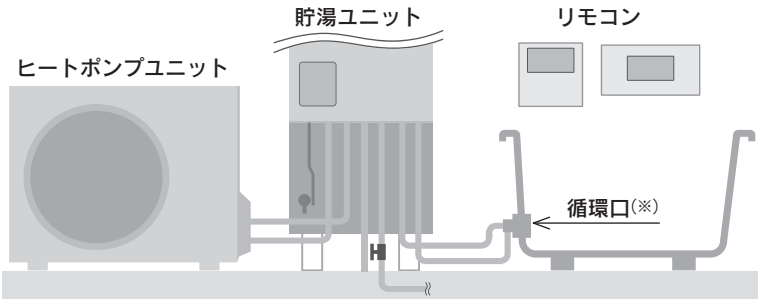
機器の周囲に灯油・ガス・ガソリン・シンナーなどの引火性危険物がないことを確認してください。

適時に

ヒートポンプユニットの除雪

積雪時はヒートポンプユニットの除雪を行ってください。除雪しないと能力低下の原因になることがあります。

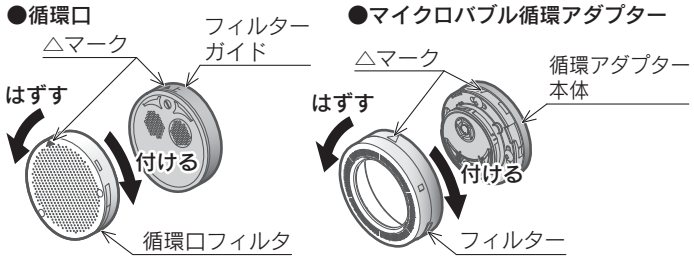




※またはマイクロバブル循環アダプター・浴そうアダプタ

循環口フィルタの掃除 オート・給湯専用は除く 2ページ

循環口フィルタ(またはフィルター)を左に回し、手前に引いてはずしてください。
歯ブラシなどでフィルタの汚れを掃除してください。
掃除終了後は、フィルターガイド(または循環アダプター本体)の△マークに循環口フィルタ(またはフィルター)の△マークを合わせてはめ込み、右に止まるまで回して固定してください。
※循環口フィルタ(またはフィルター)は必ず取付けてください。



周囲の掃除

機器周囲のゴミや落ち葉を掃除してください。ヒートポンプユニットの吸込口がつまると能力低下の原因になることがあります。
また落ち葉などがあると、機器内に小動物が侵入して発火・発煙・故障の原因になることがあります。

リモコン・貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの掃除

水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因になることがあります。

配管クリーン 給湯専用は除く 2ページ

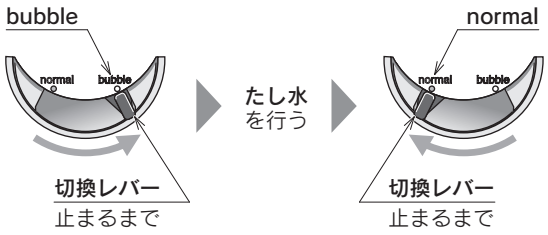
ふろ配管内に残っている残り湯を洗い流します。
リモコン取扱説明書参照

適時に

マイクロバブル循環アダプターの内部洗浄

マイクロバブル循環アダプターを取付けている場合

マイクロバブルをしばらく使わなかったときは、マイクロバブル循環アダプターの内部に古い水がたまっていることがあります。
おふろの残り湯がありなしにかかわらず、切換レバーを右に動かし、「bubble」の位置にして、たし水を行ってください。
たし水が終わったら切換レバーを左に動かして「normal」の位置に戻してください。



1ケ月に1回以上

逃し弁の確認

⚠警告

- ●逃し弁周辺の配管は熱くなりますので、手を触れないでください。
- ●逃し弁のレバーはゆっくり操作してください。逃し弁のレバーを急に上げると熱湯が勢いよく出ることがあるので、やけどの原因になります。
- ●排水時はホースや排水が熱くなることがありますので、手を触れないでください。

1 逃し弁のレバーをゆっくり上げる

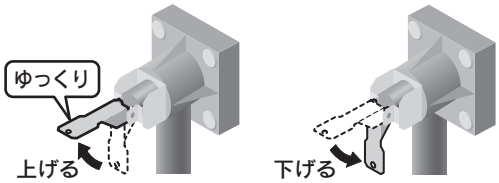
逃し弁の排水ホースからお湯が出ることを確認します。

2 逃し弁のレバーを下げる

お湯が止まることを確認します。

3 逃し弁のレバー上げ下げを数回繰り返す

湯あかやゴミを流します。



半年に1回以上

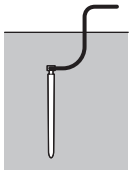
漏電遮断器の作動確認

⚠警告

- ●漏電遮断器は濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。

1 アースの確認をする

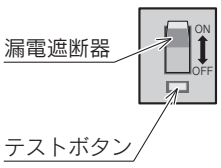
アース線が途中で切れていないこと、接続されていることを確認します。

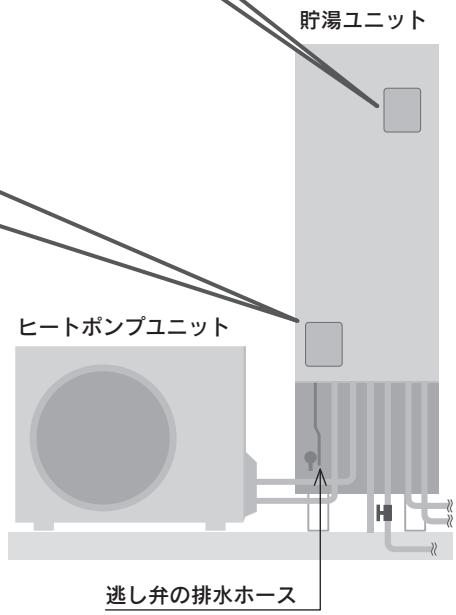


2 漏電遮断器のテストボタンを押す

「ON」から「OFF」になると正常です。

3 漏電遮断器を「ON」にする





日常の点検・手入れのしかた

1年に1回以上

配管洗浄

オート・給湯専用は除く 2ページ

配管洗浄剤を使ってふろ配管を掃除します。 **リモコン取扱説明書参照**

タンクのお手入れ(水抜き)

⚠警告

- ●漏電遮断器は濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。
- ●逃し弁周辺の配管は熱くなりますので、手を触れないでください。
- ●逃し弁のレバーはゆっくり操作してください。逃し弁のレバーを急に上げると熱湯が勢いよく出ることがあるので、やけどの原因になります。
- ●排水時はホースや排水が熱くなることがありますので、手を触れないでください。

1 漏電遮断器を操作する

「OFF」にした後「ON」にし、**必ず1分後(※)に再度「OFF」にする。**

※1分後に「OFF」にしないと、タンクが負圧破損する原因になることがあります。
1分を過ぎてしまった場合は、**1**を最初からやり直してください。

2 給水元栓を閉める

3 逃し弁のレバーをゆっくり上げる

4 排水栓を「排水」にし、排水がきれいになったら「通常」に戻す

1～2分間排水してください。

薄型タイプの場合 2ページ

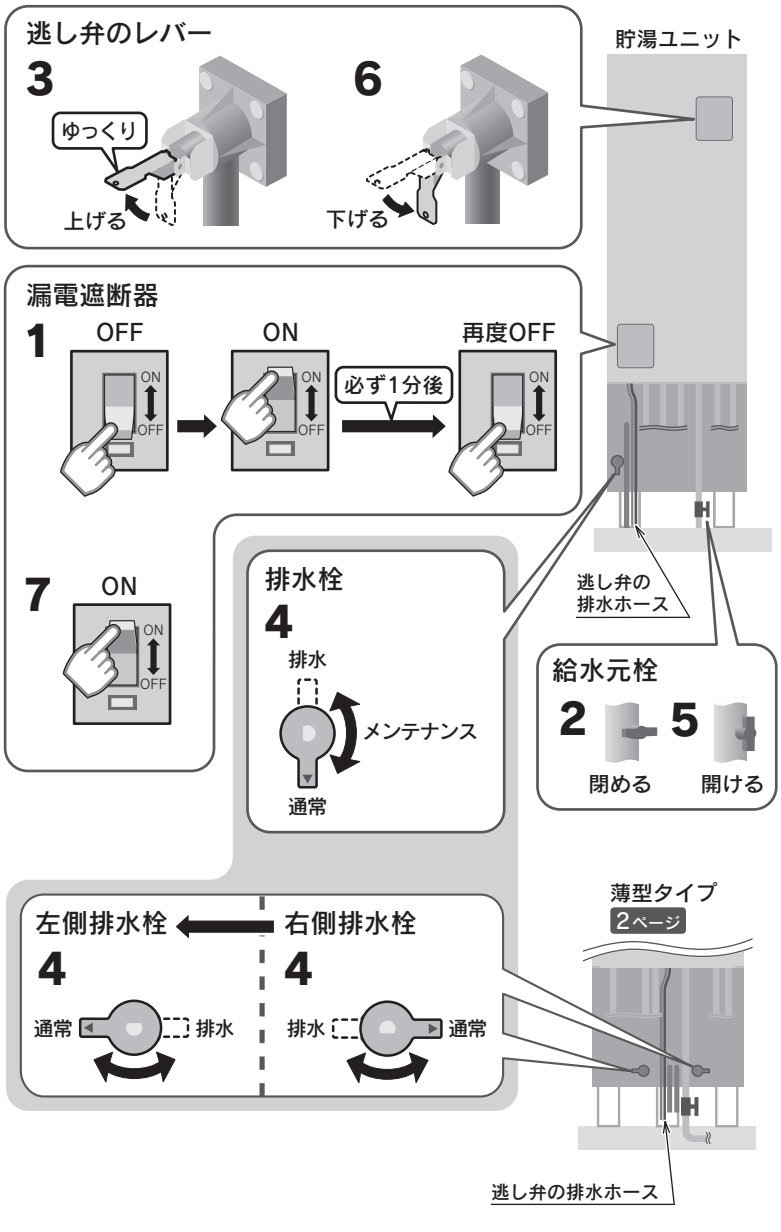
1.右側排水栓を「**排水**」にし、排水がきれいになったら「**通常**」に戻す。
1～2分間排水してください。
2.左側排水栓を「**排水**」にし、排水がきれいになったら「**通常**」に戻す。
1～2分間排水してください。

5 給水元栓を開ける

逃し弁の排水ホースから連続的にお湯(水)が出ることを確認します。

6 逃し弁のレバーを下げる

7 漏電遮断器を「ON」にする



水フィルタの掃除

⚠警告

- ●漏電遮断器は濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。
- ●逃し弁周辺の配管は熱くなりますので、手を触れないでください。
- ●逃し弁のレバーはゆっくり操作してください。逃し弁のレバーを急に上げると熱湯が勢いよく出ることがあるので、やけどの原因になります。
- ●排水時はホースや排水が熱くなることがありますので、手を触れないでください。

水フィルタにゴミがたまるとお湯が出にくくなりますので、定期的に掃除をしてください。

1 漏電遮断器を「OFF」にする

2 給水元栓を閉める

3 逃し弁のレバーをゆっくり上げる

4 逃し弁の排水ホースから水が出なくなったら水フィルタをはずして掃除をする

水フィルタをはずしたときに配管内に残っている水が出ますが、異常ではありません。
掃除は歯ブラシなどを使用してください。
フィルタを変形させたり、Oリングに傷をつけたりしないように注意してください。

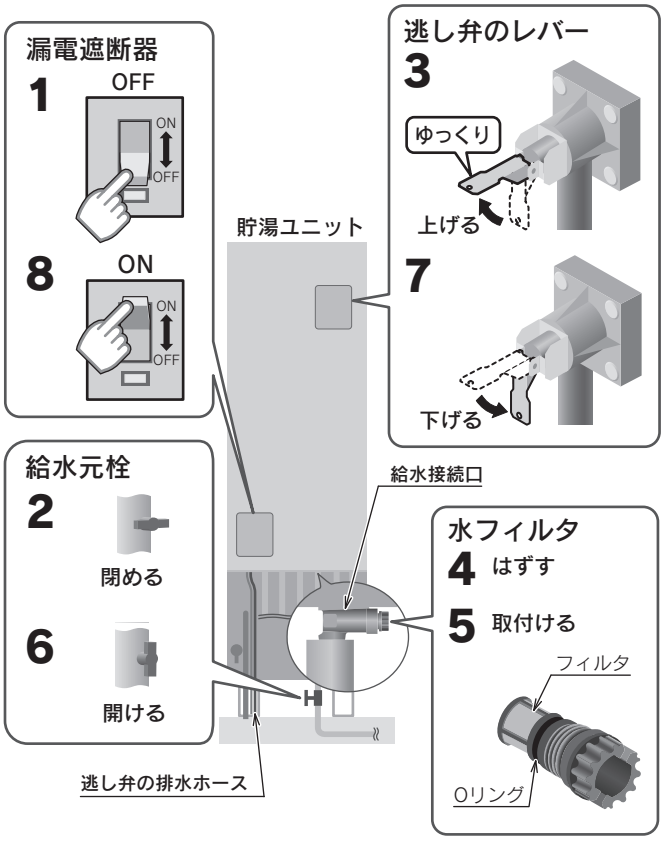
5 Oリングをきれいにふいて水フィルタを元通りに取付ける

6 給水元栓を開ける

7 逃し弁の排水ホースから連続的にお湯（水）が出ることを確認したら逃し弁のレバーを下げる

水フィルタから水漏れがないことを確認します。

8 漏電遮断器を「ON」にする



定期点検

定期点検は有料です

●長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
　機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
●給水用具（逆流防止装置）に関しては（公社）日本水道協会発行の「**給水用具の維持管理指針**」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度です。
　（給湯専用は除く2ページ）
●定期点検はお買い求めの販売店にご連絡ください。

1ケ月以上使用しないとき

●お買い求めの販売店に水抜きを依頼してください。

地震などの被害にあったとき

●機器や配管の破損、水漏れなどを確認して、異常があればお買い求めの販売店にご連絡ください。

水抜き後の再使用方法

●水抜き後に再使用するときは、タンクを満水にして「**エア抜き試運転**」を行ってください。
●配管カバーまたは脚部カバーを取付けている場合は、取りはずしてから行ってください。10ページ

⚠警告

●漏電遮断器は濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。

タンクを満水にする

1 漏電遮断器が「OFF」になっていることを確認する

2 逃し弁のレバーを上げる

3 排水栓が「通常」になっていることを確認する

4 給水元栓を開ける

5 逃し弁の排水ホースから連続的に水が出ることを確認する

水が出るまで20～40分かかります。
逃し弁の排水ホースから連続的に水が出れば、タンクは満水です。

6 逃し弁のレバーを下げる

7 混合水栓の給湯栓を開けて連続的に水が出ることを確認する

サーモスタット付混合水栓の場合は、40℃に設定して水を流します。

8 給湯栓を閉める

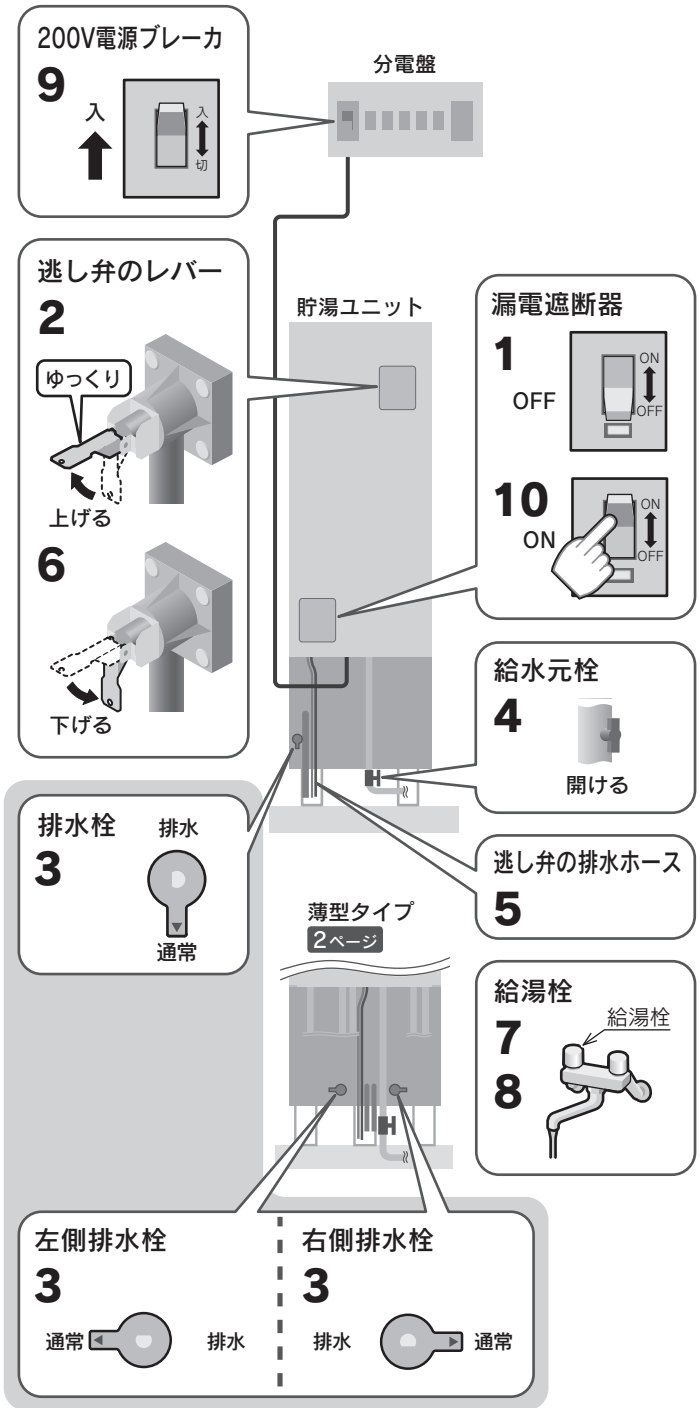
9 200V電源ブレーカを「入」にする

10 漏電遮断器を「ON」にする

現在時刻が合っていない場合は、設定し直してください。リモコン取扱説明書参照

11 エア抜き試運転を行う

配管内とタンク内の空気を抜くため、エア抜き試運転を行ってください。16・17ページ



お知らせ

●配管カバーまたは脚部カバーを取付けている場合は、元通りに取付けてください。

水抜き後の再使用方法

エア抜き試運転

水抜き後に再使用するときは、タンクを満水（15ページ）にして「**エア抜き試運転**」を行ってください。

●「**エア抜き試運転**」は台所リモコンで行います。
●ご自宅のリモコンタイプ（2ページ）を確認して行ってください。

カラー液晶リモコン



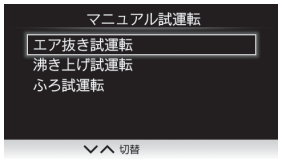
1 メニューを押す

2 へ を押しながら 決 定 を約5秒間押す

●へスイッチは消灯していますので、イラストの2の位置をめやすに操作してください。
※押しているときはスイッチが点滅します。

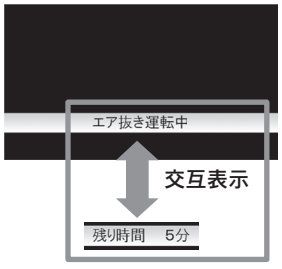
▼

●「**エア抜き試運転**」が表示されます。



3 決 定 を押す

●「**エア抜き運転中**」と「**残り時間:○分**」を交互に表示しています。



▼

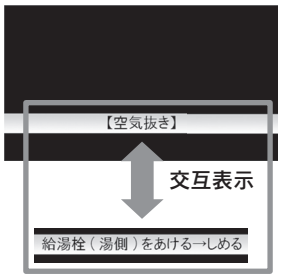
●表示した残り時間が経過すると「**エア抜き運転完了**」を表示します。



4 決 定 を押す

●給湯栓を開けタンク内の空気を抜いてください。
（空気混じりに出ていた水が連続的に出てくるようになったら給湯栓を閉めてください。）





5 決 定 を押す

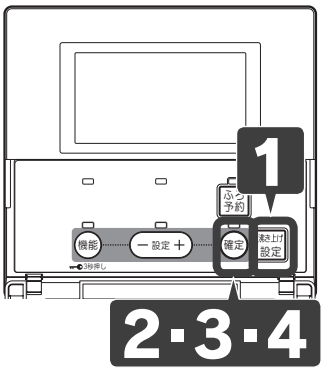
●通常の表示に戻ります。

中止するときは〉スイッチを約10秒間押す
（押しているときは〉スイッチが点滅します。）

お知らせ

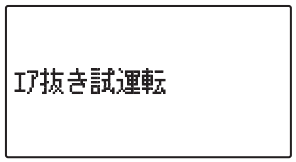
●エア抜き試運転中は浴室リモコンに「**マニュアル試運転中**」と表示します。
●タンクが満水になっていない状態でエア抜き試運転を行うと、「**試運転異常**」を表示し、エラーコードを表示して運転を停止します。
決定スイッチを押すと通常の表示（エラーコードは表示しています）に戻り、戻るスイッチを約10秒間押すとエラーコードが消えます。
タンクが満水になっていることを確認して、再度エア抜き試運転を行ってください。

インターホンリモコン



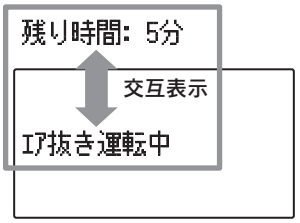
イラストはCMR-2534Pです。

1 沸き上げ設定 を約10秒間押す



2 確定 を押す

●「**エア抜き運転中**」と「**残り時間:○分**」を交互に表示します。



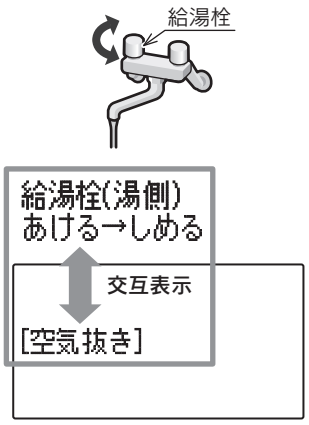
▼

●表示した残り時間が経過すると「**エア抜き運転完了**」を表示します。



3 (確定)を押す

●給湯栓を開けタンク内の空気を抜いてください。
(空気混じりに出ていた水が連続的に出てくるようになったら給湯栓を閉めてください。)



4 (確定)を押す

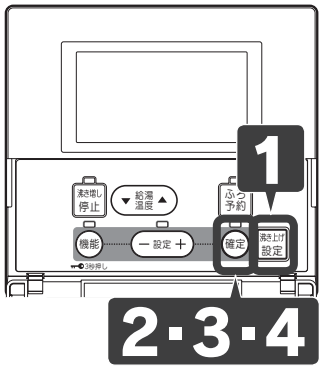
●通常の表示に戻ります。

中止するときは
沸き上げ設定 を約10秒間押す

お知らせ

●エア抜き試運転中は浴室リモコンに「**マニュアル試運転中**」と表示します。
●タンクが満水になっていない状態でエア抜き試運転を行うと、「**試運転異常**」を表示し、エラーコードを表示して運転を停止します。
確定スイッチを約10秒間押すと警報が解除され通常表示になります。
タンクが満水になっていることを確認して、再度エア抜き試運転を行ってください。

音声リモコン



イラストはCMR-2712Vです。

1 沸き上げ設定 を約10秒間押す

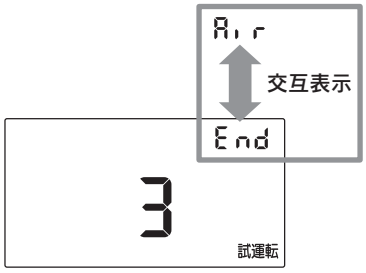


2 (確定)を押す

●「2 **試運転**」と残り時間(分)「5」～「1」を表示します。

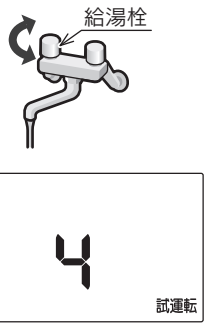


●表示した残り時間が経過すると「3 **試運転**」に変わり、「Air」と「End」を交互に表示します。



3 (確定)を押す

●給湯栓を開けタンク内の空気を抜いてください。
(空気混じりに出ていた水が連続的に出てくるようになったら給湯栓を閉めてください。)



4 (確定)を押す

●通常の表示に戻ります。

中止するときは
沸き上げ設定 を約10秒間押す

お知らせ

●エア抜き試運転中は浴室リモコンに「Si」と表示します。
●タンクが満水になっていない状態でエア抜き試運転を行うと「99」(試運転異常)を表示し、エラーコードを表示して運転を停止します。
確定スイッチを約10秒間押すと警報が解除され通常表示になります。
タンクが満水になっていることを確認して、再度エア抜き試運転を行ってください。

凍結のおそれがあるとき

●冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。（凍結により機器が破損した場合の修理は、保証期間内でも有料になります。）
●ふろ配管も凍結を予防するために、必ず保温してください。
●凍結のおそれがある地域では市販の電気ヒータを配管やバルブ類に取付けて、充分な保温を行ってください。保温が充分でないと凍結予防処置を行っても効果がありません。

凍結予防　凍結予防には「**凍結予防装置と市販の電気ヒータによる方法**」・「**機器内のお湯（水）を抜く方法**」があります。

凍結予防装置と市販の電気ヒータによる方法

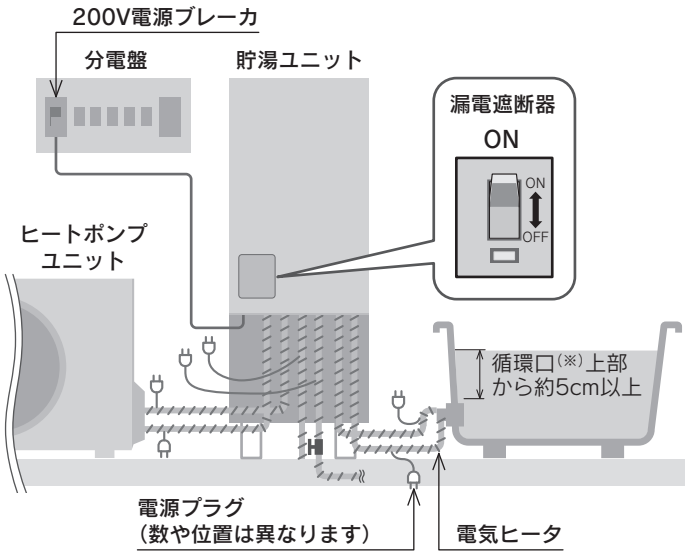
外気温が下がると自動的に凍結予防ヒータに通電し、機器内の給水経路を保温します。
また、おふろの水を循環させてふろ配管の凍結を予防します。（オート・給湯専用は除く2ページ）
市販の電気ヒータを配管やバルブ類に取付けている場合は、機器外の配管やバルブ類などを保温します。

1 200V電源ブレーカが「入」になっていることを確認する

2 漏電遮断器が「ON」になっていることを確認する

3 おふろの水位が循環口またはマイクロバブル循環アダプター上部から約5cm以上あることを確認する
（オート・給湯専用は除く）

4 電気ヒータのコンセントを差し込む
（市販の電気ヒータを取付けている場合）



※またはマイクロバブル循環アダプター

お知らせ

●凍結予防装置は200V電源ブレーカを「**切**」にしたり、漏電遮断器を「**OFF**」にしたりすると作動しません。
●おふろに水が入っていない場合は、機器外のふろ配管は保温されません。
●市販の電気ヒータを取付けていない場合は、配管やバルブ類などの凍結予防はできませんので充分に保温してください。

機器内のお湯（水）を抜く方法〔長期間使用しない場合〕

長期間使用しないときや漏電遮断器を「**OFF**」にするときは、この方法で行ってください。
水抜きはお買い求めの販売店に依頼してください。

お知らせ

●再使用するときは「**水抜き後の再使用方法**」に従ってください。15ページ
●再使用するときまでおふろに水を入れないでください。

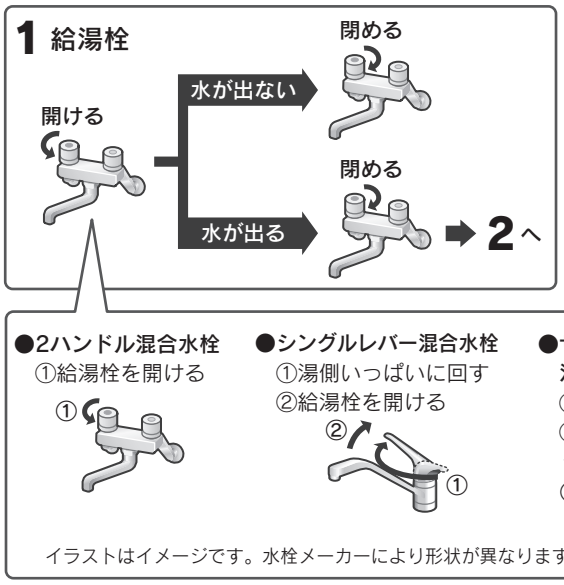
凍結したとき

給湯栓を開けてもお湯も水も出ません。自然解凍するまでお待ちください。
解けて水が出るまでは、以下の手順に従ってください。

1 ときどき給湯栓を開ける

〈じゃ口から水が出ない場合〉
まだ凍結しています。**給湯栓を閉め**、時間をおいて再度 **1** を行ってください。

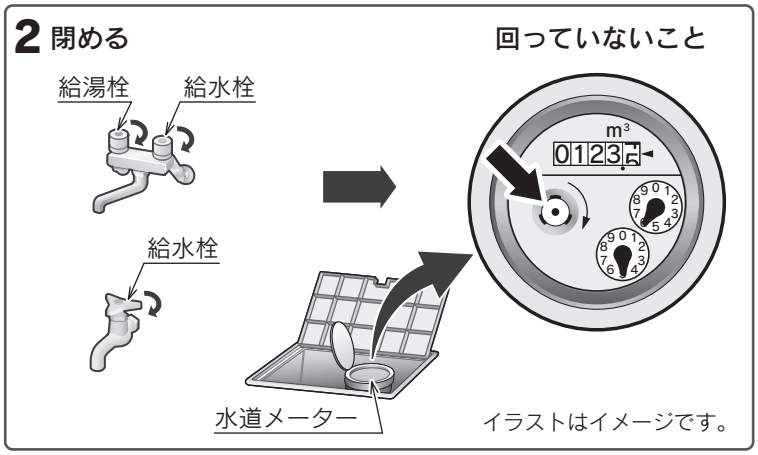
〈じゃ口から水が出た場合〉
給湯栓を閉めて **2** を行ってください。



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

2 すべての給水栓と給湯栓を閉め、水道メーターが回っていないことを確認する

給水・給湯配管が凍結すると、機器や配管が破損することがあります。
水道メーターが回っている場合は水漏れの可能性がありますので、お買い求めの販売店にご連絡ください。



イラストはイメージです。

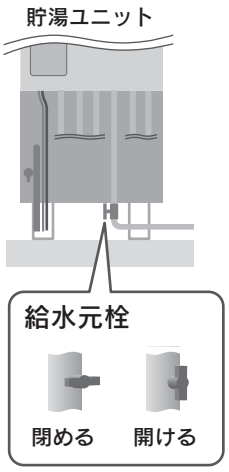
断水したとき

●断水したときは給水元栓を閉めてください。
●復旧したときははじめに給水栓を開けて、汚れた水が出なくなってから給水元栓を開けて使用してください。
●配管カバーまたは脚部カバーを取付けている場合は、取りはずしてから行ってください。10ページ

断水時

1 貯湯ユニットの給水元栓を閉める

●給水元栓を閉めないと、断水復旧後にタンクのお湯(水)が濁ったり、お湯(水)の出る勢いが弱くなったりすることがあります。
●断水のときはお湯も水も出ません。
すべての混合水栓を開けないでください。



復旧後

1 給水栓を開けてじゃ口から汚れた水を出す

2 じゃ口の水がきれいになったら給水栓を閉める

3 貯湯ユニットの給水元栓を開ける



お知らせ

●配管カバーまたは脚部カバーを取付けている場合は、元通りに取付けてください。

停電したとき

●現在時刻が合っていない場合は設定し直してください。
●夜間時間帯に停電したときは、翌朝までに沸き上がらない場合があります。
●停電中は熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

浸水したとき

●浸水対応(2ページ)以外の場合
お買い求めの販売店に点検を依頼してください。
使用はしないでください。

●浸水対応の場合
1m以内の浸水の場合は、水が引いた後に使用できますが、お早めにお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

断水したときや非常時にお湯を取出す

●断水したときや非常時は、タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。
●飲用や調理には使用しないでください。やむをえず使用する場合は、必ず沸騰させてください。
●配管カバーまたは脚部カバーを取付けている場合は、取りはずしてから行ってください。10ページ

取水の方法(スリムタイプ・角型タイプの場合2ページ)

薄型タイプの場合は次ページです。

⚠警告

●漏電遮断器は濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。
●逃し弁周辺の配管は熱くなりますので、手を触れないでください。
●逃し弁のレバーはゆっくり操作してください。逃し弁のレバーを急に上げると熱湯が勢いよく出ることがあるので、やけどの原因になります。また、熱に強い容器でお湯(水)を受けてください。

1 漏電遮断器を操作する

「OFF」にした後「ON」にし、**必ず1分後(※)に再度「OFF」にする。**

※1分後に「OFF」にしないと、タンクが負圧破損する原因になることがあります。
1分を過ぎてしまった場合は、**1**を最初からやり直してください。

2 給水元栓を閉める

3 排水ホースの先端をバケツなどで受ける

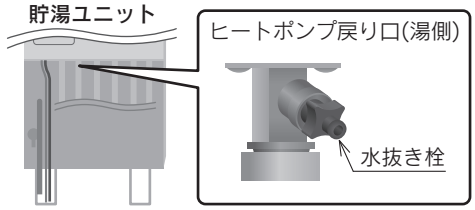
4 逃し弁のレバーをゆっくり上げる

5 排水栓をゆっくり「排水」にする

排水ホースからお湯(水)が出ます。
熱いお湯によるやけどに注意してください。
また出はじめのお湯(水)は湯あかやゴミが出ることがあります。

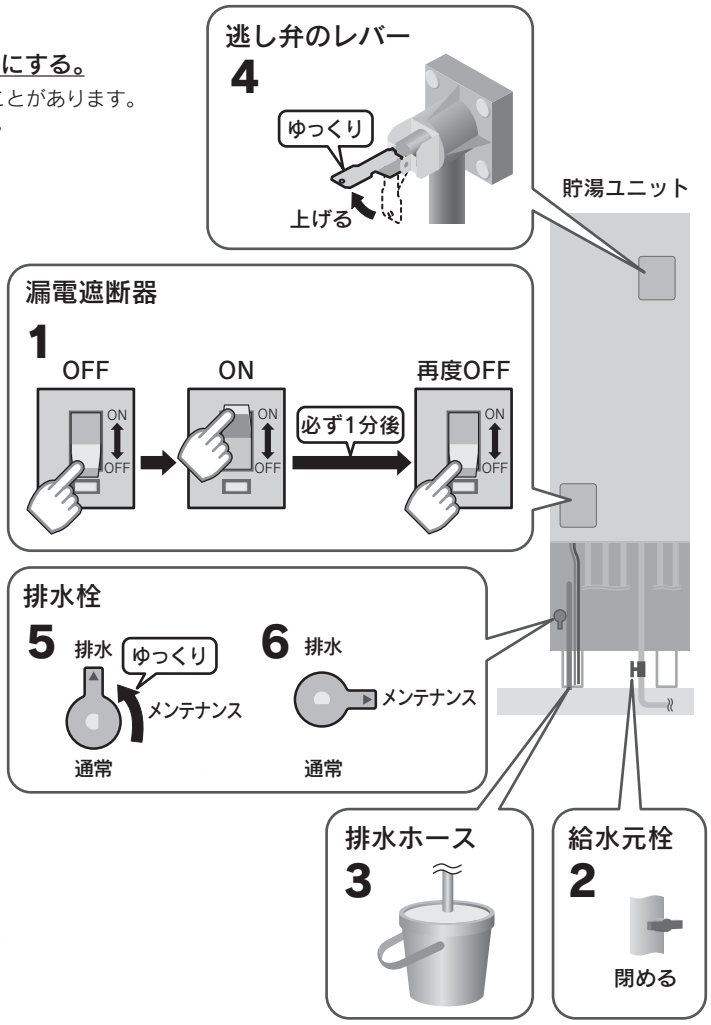
排水栓を「排水」にしてもお湯(水)の出が悪い、または出ない場合

ヒートポンプ戻り口(湯側)の水抜き栓を緩めてください。



6 取水を中断するときは、排水栓を「メンテナンス」に戻してお湯を止める

5で水抜き栓を緩めた場合は必ず締めてください。



お湯を取出し終えたら…

⚠注意

●ヒートポンプ戻り口(湯側)の水抜き栓が緩んだ状態で排水栓を「**通常**」に戻すと、水抜き栓からお湯(水)が出ますので、水抜き栓が締まっていることを確認してください。

1 排水栓を「通常」に戻す

2 逃し弁のレバーを下げる

お知らせ

●再度使用するときは「**水抜き後の再使用方法**」に従ってください。15ページ
●配管カバーまたは脚部カバーを取付けている場合は、元通りに取付けてください。

断水したときや非常時にお湯を取出す

取水の方法(薄型タイプの場合 2ページ)

⚠警告

- ●漏電遮断器は濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。
- ●逃し弁周辺の配管は熱くなりますので、手を触れないでください。
- ●逃し弁のレバーはゆっくり操作してください。逃し弁のレバーを急に上げると熱湯が勢いよく出ることがあるので、やけどの原因になります。また、熱に強い容器でお湯(水)を受けてください。

1 漏電遮断器を操作する

「OFF」にした後「ON」にし、<u>必ず1分後(※)に再度「OFF」にする。</u>

※1分後に「OFF」にしないと、タンクが負圧破損する原因になることがあります。
1分を過ぎてしまった場合は、**1**を最初からやり直してください。

2 給水元栓を閉める

3 右側排水ホースの先端をバケツなどで受ける

4 逃し弁のレバーをゆっくり上げる

5 右側排水栓をゆっくり「排水」にする

右側排水ホースからお湯(水)が出ます。
熱いお湯によるやけどに注意してください。
また出はじめのお湯(水)は湯あかやゴミが出ることがあります。

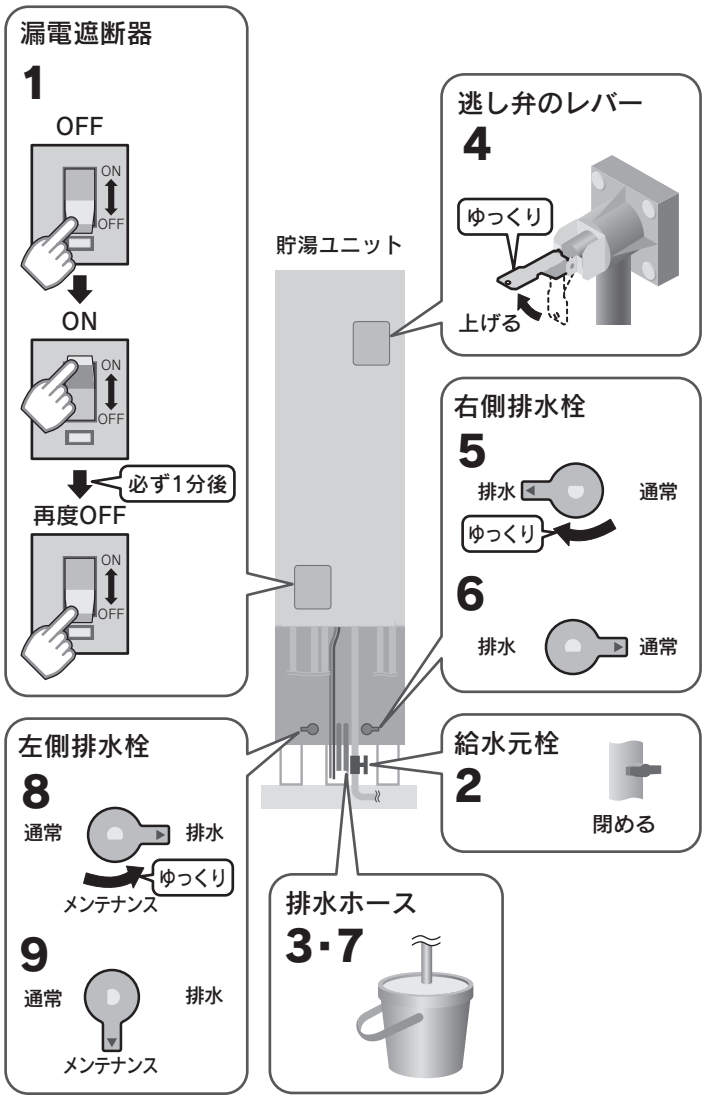
6 右側排水栓を「通常」にしてお湯(水)を止める

7 右側排水ホースからお湯(水)が出なくなったら右側排水栓を「通常」に戻して、左側排水ホースをバケツなどで受ける

8 左側排水栓をゆっくり「排水」にする

左側排水ホースからお湯(水)が出ます。
熱いお湯によるやけどに注意してください。
また出はじめのお湯(水)は湯あかやゴミが出ることがあります。

9 取水を中断するときは、左側排水栓を「メンテナンス」に戻してお湯(水)を止める



お湯を取出し終えたら…

1 排水栓を「通常」に戻す

2 逃し弁のレバーを下げる

お知らせ

- ●再度使用するときは「**水抜き後の再使用方法**」に従ってください。 15ページ
- ●配管カバーまたは脚部カバーを取付けている場合は、元通りに取付けてください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

次のような場合は故障ではありません。修理を依頼する前にもう一度確認してください。

	こんなときは	確認してください
シャワーやじゃ口	お湯も水も出ない	●断水していませんか。断水のときは貯湯ユニットに給水されないためお湯が出ません。断水が復旧してから処置を行ってください。20ページ ●給水元栓を閉めていませんか。開けてください。 ●配管が凍結していませんか。凍結が解消するまでお待ちください。
	お湯の出が悪い	●ガス給湯器や直圧式の石油給湯器に比べ、若干お湯の出が弱くなります。水道の圧力を下げて一定の水圧に調整しているためです。 ●リモコンの給湯温度を60℃に設定し、水と混ぜて使用してください。 混合水栓のタイプによっては給湯栓を全開にしてもお湯の出が悪いことがあります。 ●ふろ自動中など、給湯以外でお湯を使用しているときはじゃ口やシャワーから出るお湯の量が少なくなることがあります。(※1・※2・※3・※4) ●貯湯ユニットの給水接続口の水フィルタにごみなどがつまっていませんか。 掃除してください。13ページ ●サーモスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの給湯温度を高くするとシャワーの勢いが強くなります。
	お湯がぬるい (設定した温度にならない) お湯が足りない	●リモコンの給湯温度の表示はめやすです。 ・配管の放熱により、設定温度よりも低くなることがあります。 ・タンクのお湯の温度が低いときは設定温度にならないことがあります。 ●配管内に残っている水が出てくることがあります。お湯が出るまでしばらくお待ちください。 ●お湯を使いすぎていませんか。 シャワーを使うときや洗い物をするときは、お湯をこまめに止めてください。 ●逃し弁のゴミかみによりお湯(水)が漏れていませんか。 「**逃し弁の確認**」を行ってください。11ページ ●給湯温度や沸き上げ設定は適切ですか。 給湯温度や沸き上げ設定を見直してください。リモコン取扱説明書参照 ●残り湯で追いだきやあつめを行っていませんか。 残り湯で追いだきやあつめを行う場合はタンクのお湯の温度が下がり、湯切れすることがあります。(※1・※2) ●頻繁に(長時間)追いだきやあつめを行ったり、ふろ保温時間が長かったりしませんか。タンクのお湯の温度が下がり、湯切れすることがあります。(※1・※2) ●サーモスタット付混合水栓を使用してぬるいときは、リモコンの設定温度を確認してください。お湯の温度を安定させるためリモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より約10℃以上高めにして使用してください。 ●沸き上げ中にお湯を使用していませんか。 ●出湯配管が水漏れしていませんか。 ●貯湯ユニットの排水栓が「**排水**」になっていませんか。 ●1箇所の混合水栓のみお湯の温度がおかしいときは、混合水栓の故障の可能性があります。
	お湯の温度が上下したり水になったりする	●次の場合が考えられます。 ・シャワーやじゃ口でお湯を使用中に、ふろ自動・高温たし湯・あつめ・追いだき・たし湯・たし水・ecoとく・配管クリーン・配管洗浄を行ったとき。(※1・※2・※3・※4) ・お湯を出したり止めたりをくり返したとき。 ・2箇所以上でお湯を使用したとき。 ・シャワーを確実に止めずに、ふたたびシャワーを出したとき。 ・沸き上げ中にお湯を使用したとき。 ・水道の圧力が変動していたとき。 ・少ししかお湯を出していないとき。(水になります。)
	お湯から油が出る お湯がくさい	●初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出ることがありますが、しばらくすると消えます。
	給湯温度が変更できない	●操作しているリモコンが優先になっていないためです。優先を切換えてください。
	お湯が白く見える	●水に溶けていた空気が機器内で加熱され、温度や水圧などの条件が重なったときに、細かい気泡となって出てくる自然現象です。ビールの泡のようなもので、体には無害です。
	汚れたお湯が出る	●断水や近くで水道工事はありませんでしたか。 ●タンクのお手入れを行っていますか。12ページ

※1 ecoとくフルオートの場合
※2 フルオートの場合
※3 eオートの場合
※4 オートの場合
2ページ

故障かな？と思ったら

「**おふろ**」の項目では、マイクロバブル循環アダプターまたは浴そうアダプタを取付けている場合、「**循環口**」が「**マイクロバブル循環アダプター**」または「**浴そうアダプタ**」になります。

	こんなときは	確認してください
おふろ (※1) (※2) (※3) (※4)	浴そうのお湯(水)が青く見える	●光の波長の関係で浴そうやお湯(水)が青く見えることがあります。
	浴そうや洗面用具などが青くなる	●配管(銅配管)から溶出したわずかな銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸が反応して浴そうや洗面用具などが青くなることがありますが、異常ではありません。(使いはじめに発生しやすく、時間の経過とともに発生しにくくなります。汚れを放置すると取れにくくなるので、こまめに掃除してください。汚れが取れにくい場合は、中性洗剤を使用するか、つけ置き洗いをすると効果的です。その後、水で充分に洗い流してください。)
	おふろがぬるい(※1)	●ecoとくを行っていませんか。ecoとくオートの設定がされていませんか。ecoとくオート設定を「**OFF**」にしてください。 リモコン取扱説明書参照
	循環口から泡が出る	●ふろ配管内に残っていた空気や、水中に溶けていた空気が気泡となり出てくるためです。
	循環口から水が出る	●ふろ保温・e保温・高温たし湯・あつめ・追いだき・たし湯の開始後しばらくは、配管内に残っている水が出てくることがあります。 ●外気温が低いときは凍結予防のため循環ポンプが作動して、配管内に残っている水が出てくることがあります。(※1・※2・※3) ●配管クリーン(自動)を「**する**」または「**on**」に設定している場合は、おふろの排水栓を抜き、残り湯が循環口付近になると自動的に水を流します。(※1・※2・※3) リモコン取扱説明書参照
	お湯はり中やたし湯中に循環口からお湯が出たり止まったりする(※1・※2・※3)	●お湯の温度や量をチェックしながらお湯をはっています。故障ではありません。
	お湯はり終了時刻が予約した時刻にならない	●現在時刻が合っていることを確認してください。 ●残り湯の状態や水圧などの条件により前後します。 ●マイクロバブル循環アダプターの切換レバーが「**bubble**」(右)の位置になっているとお湯はりに時間がかかります。マイクロバブルを行わないときは切換レバーを「**normal**」(左)の位置に戻してください。(※5)
	ふろ温度や水位が設定通りにならない	●ふろ保温を中止したとき、たし湯やたし水をしたときは、おふろの温度が低くなったり、お湯の量が多くなったりすることがあります。(※1・※2・※3) ●お湯はり中におふろの温度を変更すると、変更した温度より高くなることがあります。 ●お湯はり終了前に入浴したり、循環口フィルタ(※1・※2・※3)のゴミづまりや確実に取付けられていなかったりすると、おふろの温度やお湯の量が設定通りにならないことがあります。 ●設定した水位にならないときは「**ふろ試運転**」を行ってください。(※1・※2・※3) 28・29ページ
	追いだきやあつめをしても熱くならない (※1・※2)	●もっと熱くしたいときは、もう一度押してください。 ●タンクに使えるお湯が充分あっても、タンクのお湯の温度が低いときは、追いだきに時間がかかります。「**沸き増し**」をしてください。 リモコン取扱説明書参照 ●循環口フィルタにゴミがつまっていませんか。掃除してください。 10ページ ●マイクロバブル循環アダプターの切換レバーが「**bubble**」(右)の位置になっているとお湯が正常に循環しないため、設定温度まで沸き上がらないことがあります。マイクロバブルを行わないときは切換レバーを「**normal**」(左)の位置に戻してください。(※5)
	追いだき・あつめ・ふろ保温に時間がかかる(※1・※2)	●タンクのお湯の温度が低いときは追いだきやふろ保温に時間がかかります。「**沸き増し**」をしてください。 リモコン取扱説明書参照 ●マイクロバブル循環アダプターの切換レバーが「**bubble**」(右)の位置になっているとお湯が正常に循環しないため、沸き上げに時間がかかります。マイクロバブルを行わないときは切換レバーを「**normal**」(左)の位置に戻してください。(※5)
	追いだきやあつめができない(※1・※2)	●タンクのお湯の温度が低いときは追いだきやあつめができないことがあります。 ●おふろのお湯が循環口上部から約5cm以上ないと追いだきやあつめはできません。 ●循環口フィルタにゴミなどがつまっていませんか。掃除してください。 10ページ ●断水しているときは追いだきできません。
	ふろ保温中に自動たし湯しない(※1・※2)	●お湯が減ってもすぐに自動たし湯しないことがあります。 ●「**ふろ保温時間**」を「**0**」に設定していませんか。 リモコン取扱説明書参照 「**0**」に設定していると自動たし湯は行いません。 ●「**自動たし湯**」を「**しない**」または「**oFF**」に設定していませんか。 リモコン取扱説明書参照
	e保温中に自動高温たし湯しない(※3)	●お湯が減ってもすぐに自動高温たし湯しないことがあります。 ●「**e保温時間**」を「**0**」に設定していませんか。 リモコン取扱説明書参照 「**0**」に設定していると自動高温たし湯は行いません。
	高温たし湯やあつめ(高温たし湯)できない(※1・※2・※3)	●おふろのお湯が循環口上部から約5cm以上ないと高温たし湯できません。

	こんなときは	確認してください
おふろ (※1) (※2) (※3) (※4)	高温たし湯やあつめ(高温たし湯)をしても熱いお湯が出ない	●タンクのお湯の温度が低いときは、高温のお湯が出ません。
	ふろ自動を始めると濁ったお湯が出る	●入浴剤を使用した後は、配管クリーンをしないと配管内の残り湯が混入し、濁ったお湯が出ることがあります。特に濁り系の入浴剤を使用した後は目立ちます。
	おふろの残り湯を排水しても配管クリーンをしない (※1・※2・※3)	●「**配管クリーン**」(自動)を「**しない**」または「**oFF**」に設定していませんか。 リモコン取扱説明書参照 ●以下の場合は配管クリーン(自動)を「**する**」または「**on**」に設定していても作動しません。 ・おふろの排水栓を抜く前に、残り湯が循環口上部から約10cm以上ないとき ・ふろ自動が終了する前に、残り湯を排水したとき
	配管洗浄しない (※1・※2・※3)	●おふろの残り湯が循環口上部から約5cm以上ないときは、すすぎ(配管内にきれいな水を流す)のみを行います。
	ecoとくができない(※1)	●タンクのお湯の温度がおふろのお湯の温度より高いときは、熱回収できないのでecoとくはすぐに終了します。 ●おふろにお湯がないときや、あっても温度が低いときは、ecoとくはすぐに終了します。 ●おふろのお湯が循環口上部から約5cm以上ないとecoとくはできません。
	ecoとくが短時間で終了する (※1)	●タンクのお湯の温度が高いときは、ecoとく開始後、短時間で終了する場合があります。
	マイクロバブルを開始してもすぐに気泡が出ない(※5)	●追いだき直後や久しぶりにマイクロバブルを行うときは、気泡の発生が少し遅れることがあります。
	マイクロバブル開始直後に水流が冷たく感じる(※5) マイクロバブルを行うとおふろのお湯が少し冷めた(※5)	●マイクロバブル開始直後は、ふろ配管内にたまったお湯が押し出されます。このお湯が冷めていると、水流が冷たいと感じたり、おふろのお湯が少し冷めたと感じたりすることがあります。マイクロバブルを行う前に追いだきをしてください。 リモコン取扱説明書参照
	マイクロバブルをしていないのに気泡が出る(※5)	●マイクロバブル循環アダプターの切換レバーが「bubble」(右)の位置になっているときにふろ運転や凍結予防のためポンプが作動すると、気泡が出ることがあります。マイクロバブルを行わないときは切換レバーを「normal」(左)の位置に戻してください。 リモコン取扱説明書参照
ナビ (※6) (※7)	使用可能湯量があるのにふろ自動や追いだきができない	●タンクに使えるお湯が充分あっても、タンクのお湯の温度が低いときは、ふろ自動や追いだきができないことがあります。
	使用可能湯量があるのに熱いお湯が出ない 高温たし湯で熱いお湯が出ない	●タンクに使えるお湯が充分あっても、タンクのお湯の温度が低いときは、高温のお湯が出ません。

※1 ecoとくフルオートの場合
※2 フルオートの場合
※3 eオートの場合
※4 オートの場合
2ページ
※5 マイクロバブル循環アダプターを取付けている場合
※6 カラー液晶リモコンの場合
※7 インターホンリモコンの場合
2ページ

故障かな？と思ったら

	こんなときは	確認してください
貯湯ユニット・ヒートポンプユニット	沸き上げ設定が「**おまかせ**」で湯切れした	●「**おまかせ**」設定では過去7日間のお湯の使用量から夜間に沸き上げる湯量を決定します。来客で多量のお湯を使用するなど、使用量が不規則なときは湯切れすることがあります。「**沸き増し**」を行うか、沸き上げ設定を「**多め**」に設定してください。 リモコン取扱説明書参照
	沸き上げ設定が「**深夜のみ**」で湯切れした	●「**深夜のみ**」設定では冬期やお湯の使用量が多いときは、湯量不足になることがあります。「**沸き増し**」を行うか、沸き上げ設定を「**おまかせ**」に設定してください。 リモコン取扱説明書参照
	沸き上げが停止した	●電圧が急に大きく変動した場合は保護のために停止することがあります。約3分後に自動的に再開します。
	沸き増し停止中や沸き上げ禁止時間中に沸き上げをする	●ヒートポンプ給湯機の凍結予防のため、外気温が低い場合は、沸き上げすることがあります。
	夜間時間帯になっても沸き上げをはじめない	●水温と残湯量によりすぐに沸き上げをしないことがあります。翌朝沸き上がっていれば正常です。
	夜間時間帯の終了時間よりも早く沸き上がる	●昼間の使用量が少ないときは、夜間時間帯の終了時間よりも早く沸き上がることがあります。
	貯湯ユニットの排水口・排水配管から水が漏れる 逃し弁の排水ホースからお湯(水)が出る	●沸き上げ中はタンクの水が膨張し、逃し弁の排水ホースから水が出ます。異常ではありません。 ●沸き上げ中以外のときは、逃し弁のレバーを数回上下に動かした後、レバーを下げて水が止まることを確認してください。漏れたままにしておくと、タンクのお湯の温度低下や湯量不足により水道代、電気代が高くなることがあります。 ●逃し弁のゴミかみによりお湯(水)が漏れることがあります。「**逃し弁の確認**」を行ってください。 11ページ
	貯湯ユニットから音がする	●設置後や部品交換後、エア抜きのために熱交循環ポンプが自動的に約10分間作動することがあります。異常ではありません。(※1・※2) ●外気温が10℃以下の場合、凍結予防のためにポンプやヒートポンプユニットを動かしお湯を循環させます。異常ではありません。
	ヒートポンプユニットから水や湯気が出る	●ヒートポンプユニットについた霜を取除くと、水や湯気となり出てきます。
	ヒートポンプユニット底面から水が漏れている	●外気温や湿度によって、底面に結露することがあります。
	ヒートポンプユニットが霜で白くなる	●冬期は運転中に霜がつくことがあります。
	ヒートポンプユニットの運転音が大きい	●冬期など給水温度が下がると能力を上げて運転するため運転音が大きくなることがあります。
	お湯がなくなった お湯がなくなりそう	●沸き増ししてください。 リモコン取扱説明書参照
	朝になってもタンクのお湯がいっぱいにならない(残湯量表示がすべて点灯しない)	●「**おまかせ**」または「**深夜のみ**」に設定している場合は、お湯をあまり使わない日が続くと、タンクいっぱいまで沸かさずにお湯を節約します。湯量モニタを確認してください。(※6・※7) リモコン取扱説明書参照 ●冬期に外気温が低く、ヒートポンプユニットの能力が低下するときは、夜間時間帯にタンクいっぱいに沸き上がらないことがあります。 ●ヒートポンプユニットが雪で埋もれている場合は能力が低下してタンクいっぱいに沸き上がらないことがあります。除雪を行ってください。 ●夜間沸き上げ中にお湯を多く使うと、タンクいっぱいに沸き上がらないことがあります。 ●沸き上げ中に長時間の停電が起こると、タンクいっぱいに沸き上がらないことがあります。
	お湯の使用量が少ないのに湯切れする	●ふだんお湯の使用量が少なく、数日おきにお湯はりするご家庭では、お湯はりする日に湯切れすることがあります。早めに「**沸き増し**」をしてください。または沸き上げ設定を「**多め**」に変更してください。 リモコン取扱説明書参照

	こんなときは	確認してください
リモコン	リモコンに何も表示しない	●停電していませんか。 ●屋内のブレーカが「**入**」になっていますか。
	リモコン表面が熱く感じる	●使用中は表示画面が点灯しますので、熱く感じることがあります。
	リモコン表示が表示画面省エネモードにならない 表示画面のバックライトが暗い、または消灯する	●表示画面省エネモードの設定を確認してください。**リモコン取扱説明書参照**
	スイッチ操作ができなくなった	●誤操作防止のチャイルドロックがかかっていませんか。 チャイルドロックを解除してください。**リモコン取扱説明書参照**
	音声案内をしない、または小さくなった	●音声ガイド音量の設定を確認してください。**リモコン取扱説明書参照** ●スピーカーに水がたまると音声が小さくなることがあります。 水をふきとってください。
	操作音がしない、または小さくなった	●操作音量の設定を確認してください。**リモコン取扱説明書参照**
	操作していないのに音が出る	●他のリモコンで給湯温度を変更したときなど、操作していないリモコンからも音声やブザーでお知らせすることがあります。
	表示画面の色が変化する	●表示画面を正面以外から見ると表示色が変化して見える場合があります。また表示内容などにより明るさにムラが生じることがあります。
	表示画面の切換わりが遅い	●気温が下がると表示の切換わりが遅くなることがあります。
	時計表示が「**−−:−−**」で点滅している	●現在時刻を設定してください。**リモコン取扱説明書参照** 現在時刻を設定しないと操作ができません。
	ふたについたスイッチのランプの光にムラがある(※7)	●ランプはスイッチ全体が均一に光るものではありません。
	通話ができない(※6・※7)	●音声ガイドが流れているときは、通話できません。
	通話をすると「**キーン**」という大きな音がする(ハウリングする) (※6・※7)	●浴室のドアを開けたまま通話するとハウリングが発生することがあります。 また台所リモコンと浴室リモコンの設置場所が近い場合もハウリングを起こすことがあります。そのような場合は通話音量を下げて使用してください。**リモコン取扱説明書参照**
	通話が途切れて会話ができない (※6・※7)	●シャワー使用中やリモコンの周囲が騒々しいときは「**話す**」側と「**聞く**」側の自動切換えがうまくできないことがあります。この場合は通話スイッチを押しながら話してください。 ●相手が話している途中に話しかけると自動切換えができず、お互いの話が途切れて聞き取れなくなります。相手が話し終わったらリモコンに向かって話してください。 **リモコン取扱説明書参照** ●マイクに水滴がつくと音が伝わらないことがあります。
	通話中に雑音が混ざる、または一瞬途切れる(※6・※7)	●故障ではありません。機器の設置状況や使用環境などによって起こることがあります。 ●リモコンから20cm以内に物を置くと、通話が途切れることがあります。 ●ハンズフリー方式の場合、話し始めの音声が途切れて聞こえることがあります。
	スイッチの反応が悪い (※6)	●誤作動防止のため素早い操作を受け付けないことがあります。 ●特に浴室リモコンは、水滴などで誤作動しないようにスイッチ感度を落としていますので、反応が悪く感じることがあります。 ●スイッチやその周辺にかかった水が原因で、一時的にスイッチの反応が悪くなることがあります。 ●爪で押したり強く押したり、指や手が他のスイッチに近づいたりすると反応しない場合があります。 ●スイッチの反応が悪いときは、一度指をリモコンから大きく離し、再度指の腹でゆっくりと押してください。
	スイッチが勝手に反応する (※6)	●スイッチやその周辺にかかった水が原因で、誤作動することがあります。 ●リモコンの表面を布などでふくと指での操作と誤検知してスイッチが反応することがあります。 お掃除の際はタッチスイッチの設定を行ってください。**リモコン取扱説明書参照**

※1 ecoとくフルオートの場合
※2 フルオートの場合
※6 カラー液晶リモコンの場合
※7 インターホンリモコンの場合

2ページ

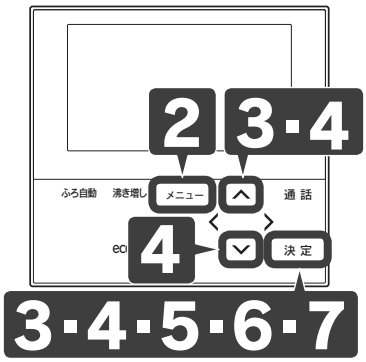
故障かな？と思ったら

ふろ試運転

おふろの水位が安定しないときに行ってください。
ふろ試運転を行っても水位が安定しない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
（オート・給湯専用は除く2ページ）

●「**ふろ試運転**」は台所リモコンで行います。
●ご自宅のリモコンタイプ（2ページ）を確認して行ってください。

カラー液晶リモコン



1 おふろの水を全部抜き、排水栓をする

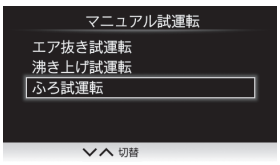
●おふろに水が残っている状態では正確な水位の設定ができません。

2 メニューを押す

3 へ を押しながら 決 定 を約5秒間押す

●へスイッチは消灯していますので、イラストの**3・4**の位置をめやすに操作してください。
※押しているときはスイッチが点滅します。

4 へ を押して「ふろ試運転」を選ぶ



5 決 定を押す

●おふろに排水栓をしていることを確認してください。



6 決 定を押す

●ふろ試運転を開始します。



▼ 10～30分かかります。



ふろ試運転が正常に終了しました

7 「ふろ試運転完了」の表示を確認して 決 定 を押す

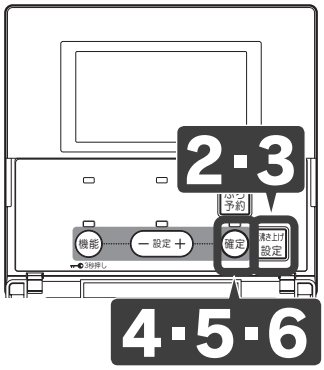
●通常の表示に戻ります。

中止するときは〉スイッチを約10秒間押す
（押しているときは〉スイッチが点滅します。）

お知らせ

●ふろ試運転中は浴室リモコンに「**マニュアル試運転中**」と表示します。
●おふろに水をはります。
（ふろ試運転後入浴する場合は、おふろの水を全部抜いてからふろ自動を行ってください。）
●おふろに水が残っている状態でふろ試運転を行うとエラーコードを表示して運転を停止します。30・31ページ
おふろの水を全部抜いてから再度ふろ試運転を行ってください。

インターホンリモコン

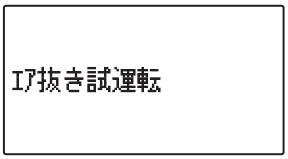


イラストはCMR-2534Pです。

1 おふろの水を全部抜き、排水栓をする

●おふろに水が残っている状態では正確な水位の設定ができません。

2 沸き上げ設定 を約10秒間押す

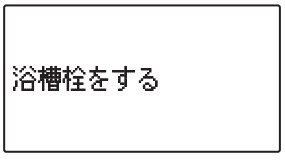


3 沸き上げ設定 を2回押す



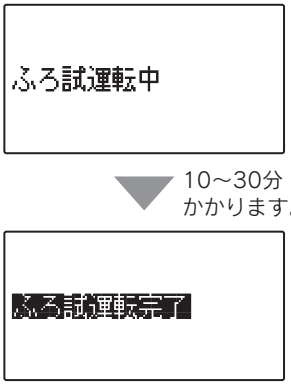
4 確定 を押す

●おふろに排水栓をしていることを確認してください。



5 確定を押す

●ふろ試運転を開始します。



6 「ふろ試運転完了」の表示を確認して確定を押す

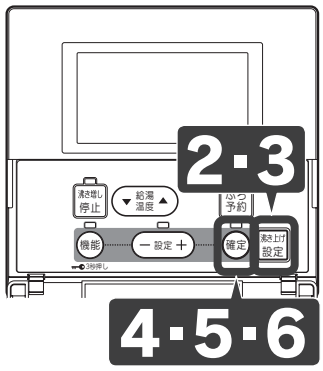
●通常の表示に戻ります。

中止するときは
沸き上げ設定 を約10秒間押す

お知らせ

●ふろ試運転中は浴室リモコンに「**マニュアル試運転中**」と表示します。
●おふろに水をはります。
（ふろ試運転後入浴する場合は、おふろの水を全部抜いてからふろ自動を行ってください。）
●おふろに水が残っている状態でふろ試運転を行うとエラーコードを表示して運転を停止します。30・31ページ
おふろの水を全部抜いてから再度ふろ試運転を行ってください。

音声リモコン

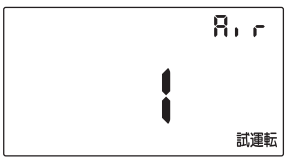


イラストはCMR-2712Vです。

1 おふろの水を全部抜き、排水栓をする

●おふろに水が残っている状態では正確な水位の設定ができません。

2 沸き上げ設定 を約10秒間押す



3 沸き上げ設定 を2回押す



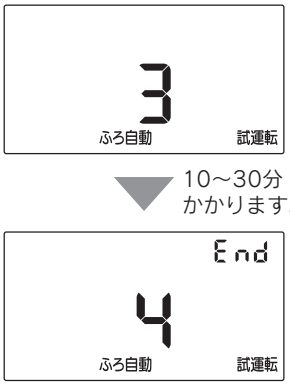
4 確定を押す

●おふろに排水栓をしていることを確認してください。



5 確定を押す

●ふろ試運転を開始します。



6 「End」の表示を確認して確定を押す

●通常の表示に戻ります。

中止するときは
沸き上げ設定 を約10秒間押す

お知らせ

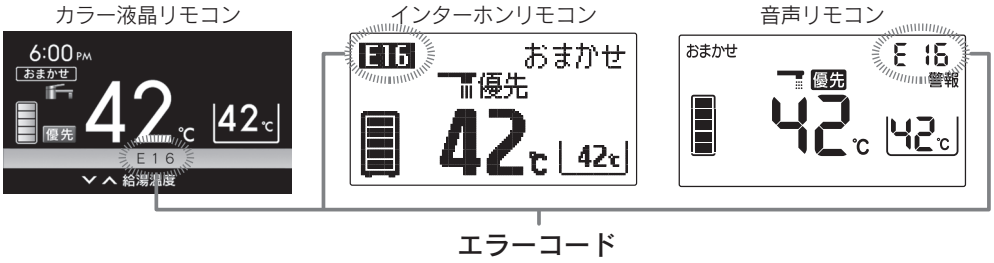
●ふろ試運転中は浴室リモコンに「Si」と表示します。
●おふろに水をはります。
（ふろ試運転後入浴する場合は、おふろの水を全部抜いてからふろ自動を行ってください。）
●おふろに水が残っている状態でふろ試運転を行うとエラーコードを表示して運転を停止します。30・31ページ
おふろの水を全部抜いてから再度ふろ試運転を行ってください。

故障かな？と思ったら

エラーコード

異常・故障の場合はリモコンにエラーコードを表示します。

●エラーコード(警報)を表示したときは、以下の表に従い確認・処置を行ってください。
●確認･処置後、確定(※)を約10秒間押してエラーコードを消してください。
※カラー液晶リモコン(2ページ)の場合は 戻 る を約10秒間押してください。
●確認・処置を行ってもエラーコードが消えない場合は、「**表にないエラーコードを表示したとき**」に従ってください。

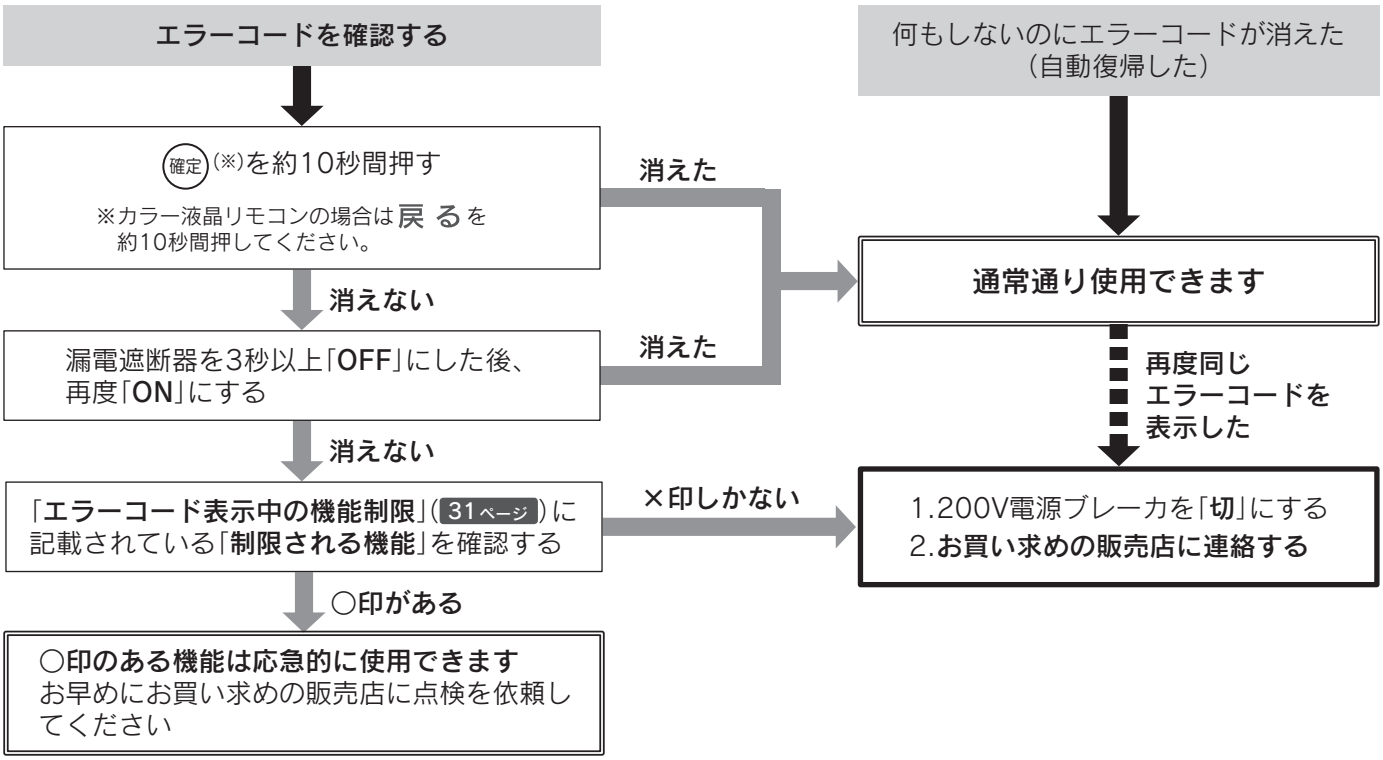


表示画面は説明のためのもので実際とは異なります。

エラーコード	説　明	確 認 ・ 処 置
E16	断水の状態で給湯した	「**断水したとき**」に従い処置を行ってください。20ページ
F00	残り湯がある状態でふろ試運転を行った	おふろの水を全部抜いてから、再度ふろ試運転を行ってください。28・29ページ
F03 F63	おふろのお湯が認識できない	おふろの排水栓が抜けている場合は排水栓をしてください。 循環口またはマイクロバブル循環アダプターのフィルターにゴミがつまっていないことを確認してください。10ページ
F16 F56	断水の状態でお湯はりした	「**断水したとき**」に従い処置を行ってください。

表にないエラーコードを表示したとき

●以下の処置を行ってください。



エラーコード表示中の機能制限

●エラーコードを表示しても○印の機能は応急的に使用できます。
●エラーコードを表示したときは、お早めにお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

表示しているエラーコード	説　明	制限される機能(※1)		
		沸き上げ(※2)	シャワー・じゃ口の使用	ふろ自動と追いだき
C C30　E E32　F F59　H H9 H31 H32 H33 H34 H35 J J6 J8　P P66 P76	タンク温度検知エラーなど	○	○	○
A A1 A2 A3 A4 A5 E E1 E6 E7 E8 EC F F3 H H0 H6 H8 H9 H15 H30 H57 H70 HC HJ J J3 J5 L L4 L5 P P4 U U0 U2 U4 U45 U54 U76 UF	ヒートポンプエラー	×	○(※3)	○
E E16 E31 E65 E66	給湯エラー	○	×(※4)	○
F F00 F03 F16 F25 F31 F32 F33 F43 F45 F46 F54 F56 F63 F65	ふろエラー	○	○	×
740 750 760	リモコンエラー	×	○	×
P P17	漏水検知エラー	×	×	×

※1 記載のない機能は使えません。
※2 タンクの水を沸かします。
※3 タンクのお湯が減ったり温度が下がったりすると、お湯が使用できなくなります。
※4 リモコンに表示している給湯温度ではなく、熱いお湯や水がでますので使用しないでください。

仕　様

仕様表(JIS C 9220：2018に基づく表示)

種類				自然冷媒(CO_2)家庭用ヒートポンプ給湯機			
機能				高圧パワー給湯ecoとくフルオートタイプ			
システム形名				EHP-3702AZPS	EHP-3702BZPS	EHP-4602BZPS	EHP-3702AZP
貯湯ユニット形名				ET-3702AZPS	ET-3702BZPS	ET-4602BZPS	ET-3702AZP
ヒートポンプユニット形名				EHPE-4540S	EHPE-4540S	EHPE-6040	EHPE-4540S
システム	適用電力制度			時間帯別電灯/季節別時間帯別電灯対応通電制御型(マイコン型)			
	電源			単相200V　50/60Hz(制御電源含む)			
	最大電流		A	17		19	17
	電源容量		A	20			
	年間給湯保温効率(JIS) ※1			3.8	4.0	3.8	3.5
	夜間消費電力量比率 ※1		%	80			
貯湯ユニット	設置区分			屋外(防雨) /屋内兼用型			
	タンク容量		L	370		460	370
	タンク材質			特殊ステンレス鋼板			
	消費電力	熱交循環ポンプ ※2	W	4			
		ふろ循環ポンプ ※2	W	45			
		沸き上げポンプ ※3	W	3		4	3
		制御	W	4			
		凍結予防ヒータ	W	46			
	給湯温度	給湯側	℃	約32/35/37～50(1℃刻み) /55/60			
		浴そう側	℃	約35～48(1℃刻み) /60			
	沸き上げ温度		℃	「**多め**」：約75～85　「**おまかせ**」：約65～90　「**深夜のみ**」：約65～90			
	最高使用圧力		kPa	340			
	外形寸法　高さ×幅×奥行		mm	2,130×560×630	1,825×630×730	2,137×630×730	2,130×560×630
	質量(製品質量/満水時質量)		kg	71/441	80/450	82/542	68/438
	安全装置			漏電遮断器			
	電流ヒューズ			ヒューズ 250V 5A			
	設置可能最低外気温度		℃	−10			
ヒートポンプユニット	設置区分			屋外(防雨)型			
	中間期標準 ※3	加熱能力/消費電力	kW	4.5/0.940		6.0/1.330	4.5/0.940
		運転電流	A	5.5		6.9	5.5
	冬期高温 ※4	加熱能力/消費電力	kW	4.5/1.50		6.0/2.00	4.5/1.50
	運転音 ※5 (音響パワーレベル)	中間期 ※3/ 冬期高温 ※4	dB	51/57		53/58	51/57
	設計圧力	高圧部/低圧部	MPa	14.0/9.0			
	外形寸法　高さ×幅×奥行 ( )は配管カバーの寸法		mm	675×825(+74)×300			
	質量		kg	52			
	冷媒名/充填量		kg	R744(CO_2) /1.10			
	電流ヒューズ			ヒューズ 250V 25A			
	設置可能最低外気温度		℃	−10			

付属品	ドレンソケット・取扱説明書・工事説明書・保証書

仕様表別表(JIS C 9220：2011に基づく表示)　省エネルギー法に基づく区分名、年間給湯保温効率、運転音(音圧レベル)

年間給湯保温効率(JIS) ※1			3.8	4.0	3.8	3.5
区分名 ※7			17			
ヒートポンプユニット 運転音 ※5 (音圧レベル)	中間期 ※3/ 冬期高温 ※4	dB	38/44		40/45	38/44

●この仕様値は50/60Hz共通です。
●停止しているときも、約4～14Wの電力を消費します。(季節によって数値は変わります。)
●低外気温時は除霜のため加熱能力が低下することがあります。
●設置可能最高外気温度は43℃です。
●運転特性はJIS C 9220に基づいた数値です。
※1 年間給湯保温効率(JIS)は日本工業規格JIS C 9220に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転したときの単位消費電力量あたりの給湯熱量および保温熱量を表したものです。なお、値は「おまかせ」湯量レベル「省エネ」で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定や使用条件などにより変わります。
年間給湯保温効率(JIS)＝1年間で使用する給湯とふろ保温に係る熱量÷1年間で必要な消費電力量
年間給湯保温効率(JIS)算出時の条件
着霜期高温加熱条件：外気温度2℃DB/1℃WB、給水温度5℃、沸き上げ温度90℃（5502タイプは85℃）
冬期給湯保温モード条件：外気温度7℃DB/6℃WB、給水温度9℃、沸き上げ温度65℃　(3702CXPは67℃)
着霜期給湯保温モード条件：外気温度2℃DB/1℃WB、給水温度5℃、沸き上げ温度3702AZPS・3702BZPS・4602タイプ・5502タイプは65℃、3702CXPは69℃、その他の3702タイプは67℃
夜間消費電力量比率：JIS C 9220冬期給湯保温モード条件にてヒートポンプ給湯機を1日運転したときの総消費電力量に対する夜間消費電力量の比率

自然冷媒(CO2)家庭用ヒートポンプ給湯機						
高圧パワー給湯eco とくフルオートタイプ	高圧力型ecoとくフルオートタイプ				高圧パワー給湯フルオートタイプ	
EHP-4602BZP	EHP-3702AZ	EHP-3702AZ-H	EHP-4602BZ	EHP-5502BZ	EHP-3702CXP	EHP-4602CXP
ET-4602BZP	ET-3702AZ	ET-3702AZ-H	ET-4602BZ	ET-5502BZ	ET-3702CXP	ET-4602CXP
EHPE-6040	EHPE-4540S	EHPE-4540S	EHPE-6040	EHPE-723	EHPE-4540	EHPE-6040
時間帯別電灯/季節別時間帯別電灯対応通電制御型(マイコン型)						
単相200V　50/60Hz(制御電源含む)						
19	17		19		17	19
20						
3.4	3.5		3.4	3.1	3.0	
80				95	80	
屋外(防雨) /屋内兼用型				屋外(防雨)型		
460	370		460	550	370	460
特殊ステンレス鋼板						
4	3		4			
45						
4	3		4	6	3	4
4						
46	15		46			
約32/35/37～50(1℃刻み) /55/60						
約35～48(1℃刻み) /60						
「**多め**」: 約75～85　「**おまかせ**」: 約65～90　「**深夜のみ**」: 約65～90						
340	190				340	
2,137×630×730	2,130×560×630		2,137×630×730	2,037×700×800	1,840×1,090×445	1,840×1,190×495
78/538	60/430	61/431	68/528	82/632	91/461	99/559
漏電遮断器						
ヒューズ 250V 5A						
−10						
屋外(防雨)型						
6.0/1.330	4.5/0.940		6.0/1.330	7.2/1.640	4.5/0.990	6.0/1.330
6.9	5.5		6.9	9.2	5.7	6.9
6.0/2.00	4.5/1.50		6.0/2.00	7.2/2.50	4.5/1.50	6.0/2.00
53/58	51/57		53/58	57/60	51/57	53/58
14.0/9.0				14.0/8.5	14.0/9.0	
675×825(+74)×300				715×800(+70)×285	675×825(+74)×300	
52				50	48	52
R744(CO2) /1.10					R744(CO2) /0.78	R744(CO2) /1.10
ヒューズ 250V 25A				ヒューズ 250V 25A 15A	ヒューズ 250V 25A	
−10						
ドレンソケット・取扱説明書・工事説明書・保証書						

3.4	3.5	3.4	3.1	3.0	
17			25	18	
40/45	38/44	40/45	44/47	38/44	40/45

※2 追いだき運転時
※3 中間期加熱条件：外気温度16℃DB/12℃WB、給水温度17℃、出湯温度65℃
※4 冬期高温加熱条件：外気温度7℃DB/6℃WB、給水温度9℃、出湯温度90℃
※5 JIS C 9220に基づき反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据付けた状態で測定すると周囲の騒音や反響を受け表示数値より大きくなるのが普通です。
※6 寒冷地年間給湯保温効率(JIS)は次世代省エネルギー基準Ⅱ地域(盛岡)を想定し、年間給湯保温効率(JIS)を表したものです。
寒冷地冬期高温加熱条件：外気温度−7℃DB/−8℃WB、給水温度5℃、沸き上げ温度85℃
※7 省エネ法に基づく区分名
区分名17とは　想定世帯：標準　貯湯容量：320L以上550L未満　仕様：寒冷地仕様以外　保温機能：有　貯湯缶数：1缶　の製品
区分名18とは　想定世帯：標準　貯湯容量：320L以上550L未満　仕様：寒冷地仕様以外　保温機能：有　貯湯缶数：多缶　の製品
区分名19とは　想定世帯：標準　貯湯容量：320L以上550L未満　仕様：寒冷地仕様以外　保温機能：無　貯湯缶数：1缶　の製品
区分名21とは　想定世帯：標準　貯湯容量：320L以上550L未満　仕様：寒冷地仕様　保温機能：有　貯湯缶数：1缶　の製品
区分名23とは　想定世帯：標準　貯湯容量：320L以上550L未満　仕様：寒冷地仕様　保温機能：無　貯湯缶数：1缶　の製品
区分名25とは　想定世帯：標準　貯湯容量：550L以上　仕様：寒冷地仕様以外　保温機能：有　貯湯缶数：1缶　の製品

仕　様

仕様表(JIS C 9220：2018に基づく表示)

種類				自然冷媒(CO_2)家庭用ヒートポンプ給湯機				
機能				高圧力型フルオートタイプ				
システム形名				EHP-3702AX	EHP-3702BX	EHP-3702BX-I	EHP-3702BX-M	EHP-4602BX
貯湯ユニット形名				ET-3702AX	ET-3702BX	ET-3702BX-I	ET-3702BX-M	ET-4602BX
ヒートポンプユニット形名				EHPE-4540	EHPE-4540	EHPE-4540	EHPE-4540	EHPE-6040
システム	適用電力制度			時間帯別電灯/季節別時間帯別電灯対応通電制御型(マイコン型)				
	電源			単相200V　50/60Hz(制御電源含む)				
	最大電流		A	17				19
	電源容量		A	20				
	年間給湯保温効率(JIS) ※1			3.3				3.4
	年間給湯効率(JIS) ※8			—				
	夜間消費電力量比率 ※1・※8		%	80				
貯湯ユニット	設置区分			屋外(防雨)/屋内兼用型				
	タンク容量		L	370				460
	タンク材質			特殊ステンレス鋼板				
	消費電力	熱交循環ポンプ ※2	W	4				
		ふろ循環ポンプ ※2	W	45				
		沸き上げポンプ ※3	W	3				4
		制御	W	4				
		凍結予防ヒータ	W	46				
	給湯温度	給湯側	℃	約32/35/37～50(1℃刻み)/55/60				
		浴そう側	℃	約35～48(1℃刻み)/60				
	沸き上げ温度		℃	「**多め**」：約75～85　「**おまかせ**」：約65～90　「**深夜のみ**」：約65～90				
	最高使用圧力		kPa	190				
	外形寸法　高さ×幅×奥行		mm	2,130×560×630	1,825×630×730	1,825×630×730	1,825×630×730	2,137×630×730
	質量(製品質量/満水時質量)		kg	59/429	61/431	62/432	61/431	67/527
	安全装置			漏電遮断器				
	電流ヒューズ			ヒューズ 250V 5A				
	設置可能最低外気温度		℃	−10				
ヒートポンプユニット	設置区分			屋外(防雨)型				
	中間期標準 ※3	加熱能力/消費電力	kW	4.5/0.990				6.0/1.330
		運転電流	A	5.7				6.9
	冬期高温 ※4	加熱能力/消費電力	kW	4.5/1.50				6.0/2.00
	運転音 ※5 (音響パワーレベル)	中間期 ※3/ 冬期高温 ※4	dB	51/57				53/58
	設計圧力	高圧部/低圧部	MPa	14.0/9.0				
	外形寸法　高さ×幅×奥行 (　)は配管カバーの寸法		mm	675×825(+74)×300				
	質量		kg	48				52
	冷媒名/充填量		kg	R744(CO_2)/0.78				R744(CO_2)/1.10
	電流ヒューズ			ヒューズ 250V 25A				
	設置可能最低外気温度		℃	−10				

付属品	ドレンソケット・取扱説明書・工事説明書・保証書

仕様表別表(JIS C 9220：2011に基づく表示)　省エネルギー法に基づく区分名、年間給湯保温効率、年間給湯効率、運転音(音圧レベル)

年間給湯保温効率(JIS) ※1			3.3		3.4
年間給湯効率(JIS) ※8			—		
区分名 ※7			17		
ヒートポンプユニット 運転音 ※5 (音圧レベル)	中間期 ※3/ 冬期高温 ※4	dB	38/44		40/45

※1～※7については32・33ページに記載。

※8 年間給湯効率(JIS)は日本工業規格JIS C 9220に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転したときの単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。
なお、値は「おまかせ」湯量レベル「省エネ」で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定や使用条件などにより変わります。

年間給湯効率(JIS)＝1年間で使用する給湯に係る熱量÷1年間で必要な消費電力量

年間給湯効率(JIS)算出時の条件

着霜期高温加熱条件：外気温度2℃DB/1℃WB、給水温度5℃、沸き上げ温度90℃
冬期給湯モード条件：外気温度7℃DB/6℃WB、給水温度9℃、沸き上げ温度65℃
着霜期給湯モード条件：外気温度2℃DB/1℃WB、給水温度5℃、沸き上げ温度65℃
夜間消費電力量比率：JIS C 9220冬期給湯モード条件にてヒートポンプ給湯機を1日運転したときの総消費電力量に対する夜間消費電力量の比率

自然冷媒(CO2)家庭用ヒートポンプ給湯機							
高圧力型 フルオートタイプ	高圧力型eオートタイプ		高圧力型オートタイプ		高圧力型給湯専用タイプ		高圧力型ecoとく フルオートタイプ
EHP-4602BX-I	EHP-3702AE	EHP-4602BE	EHP-3702BA	EHP-4602BA	EHP-3702A	EHP-4602B	EHP-5502BZ-E2
ET-4602BX-I	ET-3702AE	ET-4602BE	ET-3702BA	ET-4602BA	ET-3702A	ET-4602B	ET-5502BZ-E2
EHPE-6040	EHPE-4540	EHPE-6040	EHPE-4540	EHPE-6040	EHPE-4540	EHPE-6040	EHPE-723E2
時間帯別電灯/季節別時間帯別電灯対応通電制御型(マイコン型)							
単相200V　50/60Hz(制御電源含む)							
19	17	19	16	18	16	18	19
20							
3.4	―						3.1
―	3.3	3.2	3.3	3.2	3.3	3.2	―
80		90	80	90	80	90	95
屋外(防雨)/屋内兼用型							屋外(防雨)型
460	370	460	370	460	370	460	550
特殊ステンレス鋼板							
4	―						4
45			―		―		45
4	3	4	3	4	3	4	6
4							
46							
約32/35/37～50(1℃刻み)/55/60					給　湯　時：約32/35/37～50(1℃刻み) 55～75(5℃刻み) お湯はり時：約35～48(1℃刻み)		約32/35 37～50(1℃刻み) 55/60
約35～48(1℃刻み)/60					―		約35~48(1℃刻み)/60
「**多め**」：約75～85　「**おまかせ**」：約65～90　「**深夜のみ**」：約65～90							
190							
2,137×630×730	2,130×560×630	2,137×630×730	1,825×630×730	2,137×630×730	2,130×560×630	2,137×630×730	2,037×700×800
68/528	57/427	65/525	58/428	64/524	55/425	63/523	82/632
漏電遮断器							
ヒューズ 250V 5A							
−10							
屋外(防雨)型							
6.0/1.330	4.5/0.990	6.0/1.330	4.5/0.990	6.0/1.330	4.5/0.990	6.0/1.330	7.2/1.640
6.9	5.7	6.9	5.7	6.9	5.7	6.9	9.2
6.0/2.00	4.5/1.50	6.0/2.00	4.5/1.50	6.0/2.00	4.5/1.50	6.0/2.00	7.2/2.50
53/58	51/57	53/58	51/57	53/58	51/57	53/58	57/60
14.0/9.0							14.0/8.5
675×825(+74)×300							715×800(+70)×285
52	48	52	48	52	48	52	50
R744(CO2)/1.10	R744(CO2)/0.78	R744(CO2)/1.10	R744(CO2)/0.78	R744(CO2)/1.10	R744(CO2)/0.78	R744(CO2)/1.10	
ヒューズ 250V 25A							ヒューズ 250V 25A 15A
−10							

ドレンソケット・取扱説明書・工事説明書・保証書

3.4	―						3.1
―	3.3	3.2	3.3	3.2	3.3	3.2	―
17	19						25
40/45	38/44	40/45	38/44	40/45	38/44	40/45	44/47

※9 寒冷地年間給湯効率(JIS)は次世代省エネルギー基準Ⅱ地域(盛岡)を想定し、年間給湯効率(JIS)を表したものです。
寒冷地冬期高温加熱条件：外気温度−7℃DB/−8℃WB、給水温度5℃、沸き上げ温度85℃

仕　様

仕様表(JIS C 9220：2018に基づく表示)

種類				自然冷媒(CO_2)家庭用ヒートポンプ給湯機			
機能				高圧パワー給湯フルオートタイプ		高圧力型フルオートタイプ	
システム形名				EHP-3702CXP-E2	EHP-4602CXP-E2	EHP-3702AX-E2	EHP-3702BX-E2
貯湯ユニット形名				ET-3702CXP-E2	ET-4602CXP-E2	ET-3702AX-E2	ET-3702BX-E2
ヒートポンプユニット形名				EHPE-4540E2	EHPE-6040E2	EHPE-4540E2	EHPE-4540E2
システム	適用電力制度			時間帯別電灯/季節別時間帯別電灯対応通電制御型(マイコン型)			
	電源			単相200V　50/60Hz(制御電源含む)			
	最大電流		A	17	19	17	
	電源容量		A	20			
	年間給湯保温効率(JIS) ※1			3.0		3.3	
	年間給湯効率(JIS) ※8			―			
	夜間消費電力量比率 ※1・※8		%	80			
貯湯ユニット	設置区分			屋外(防雨)型		屋外(防雨)/屋内兼用型	
	タンク容量		L	370	460	370	
	タンク材質			特殊ステンレス鋼板			
	消費電力	熱交循環ポンプ ※2	W	4			
		ふろ循環ポンプ ※2	W	45			
		沸き上げポンプ ※3	W	3	4	3	
		制御	W	4			
		凍結予防ヒータ	W	46			
	給湯温度	給湯側	℃	約32/35/37～50(1℃刻み)/55/60			
		浴そう側	℃	約35～48(1℃刻み)/60			
	沸き上げ温度		℃	「**多め**」：約75～85　「**おまかせ**」：約65～90　「**深夜のみ**」：約65～90			
	最高使用圧力		kPa	340		190	
	外形寸法　高さ×幅×奥行		mm	1,840×1,090×445	1,840×1,190×495	2,130×560×630	1,825×630×730
	質量(製品質量/満水時質量)		kg	91/461	99/559	59/429	61/431
	安全装置			漏電遮断器			
	電流ヒューズ			ヒューズ 250V 5A			
	設置可能最低外気温度		℃	−10			
ヒートポンプユニット	設置区分			屋外(防雨)型			
	中間期標準 ※3	加熱能力/消費電力	kW	4.5/0.990	6.0/1.330	4.5/0.990	
		運転電流	A	5.7	6.9	5.7	
	冬期高温 ※4	加熱能力/消費電力	kW	4.5/1.50	6.0/2.00	4.5/1.50	
	運転音 ※5 (音響パワーレベル)	中間期 ※3/ 冬期高温 ※4	dB	51/57	53/58	51/57	
	設計圧力	高圧部/低圧部	MPa	14.0/9.0			
	外形寸法　高さ×幅×奥行 (　)は配管カバーの寸法		mm	675×825(+74)×300			
	質量		kg	48	52	48	
	冷媒名/充填量		kg	R744(CO_2)/0.78	R744(CO_2)/1.10	R744(CO_2)/0.78	
	電流ヒューズ			ヒューズ 250V 25A			
	設置可能最低外気温度		℃	−10			

付属品				取扱説明書・工事説明書・保証書			

仕様表別表(JIS C 9220：2011に基づく表示)　省エネルギー法に基づく区分名、年間給湯保温効率、年間給湯効率、運転音(音圧レベル)

年間給湯保温効率(JIS) ※1				3.0		3.3	
年間給湯効率(JIS) ※8				―			
区分名 ※7				18		17	
ヒートポンプユニット 運転音 ※5 (音圧レベル)	中間期 ※3/ 冬期高温 ※4		dB	38/44	40/45	38/44	

※1～※9については32～35ページに記載。

自然冷媒(CO_2)家庭用ヒートポンプ給湯機				
高圧力型 フルオートタイプ	高圧力型給湯専用タイプ			
EHP-4602BX-E2	EHP-3702A-E2	EHP-3702A-I-E2	EHP-4602B-E2	EHP-4602B-I-E2
ET-4602BX-E2	ET-3702A-E2	ET-3702A-I-E2	ET-4602B-E2	ET-4602B-I-E2
EHPE-6040E2	EHPE-4540E2	EHPE-4540E2	EHPE-6040E2	EHPE-6040E2
時間帯別電灯/季節別時間帯別電灯対応通電制御型(マイコン型)				
単相200V　50/60Hz(制御電源含む)				
19	16		18	
20				
3.4	—			
—	3.3		3.2	
80			90	
屋外(防雨)/屋内兼用型				
460	370		460	
特殊ステンレス鋼板				
4	—			
45	—			
4	3		4	
4				
46				
約32/35/37~50(1℃刻み)/55/60	給　湯　時：約32/35/37～50(1℃刻み)/55～75(5℃刻み) お湯はり時：約35～48(1℃刻み)			
約35～48(1℃刻み)/60	—			
「**多め**」：約75～85　「**おまかせ**」：約65～90　「**深夜のみ**」：約65～90				
190				
2,137×630×730	2,130×560×630		2,137×630×730	
67/527	55/425	56/426	63/523	64/524
漏電遮断器				
ヒューズ 250V 5A				
−10				
屋外(防雨)型				
6.0/1.330	4.5/0.990		6.0/1.330	
6.9	5.7		6.9	
6.0/2.00	4.5/1.50		6.0/2.00	
53/58	51/57		53/58	
14.0/9.0				
675×825(+74)×300				
52	48		52	
R744(CO_2)/1.10	R744(CO_2)/0.78		R744(CO_2)/1.10	
ヒューズ 250V 25A				
−10				

取扱説明書・工事説明書・保証書

3.4	—	
—	3.3	3.2
17	19	
40/45	38/44	40/45

仕　様

仕様表(JIS C 9220：2018に基づく表示)

種類				自然冷媒(CO_2)家庭用ヒートポンプ給湯機			
機能				高圧パワー給湯ecoとくフルオートタイプ		高圧力型ecoとくフルオートタイプ	
システム形名				EHP-3702AZP-K	EHP-4602BZP-K	EHP-3702AZ-K	EHP-4602BZ-K
貯湯ユニット形名				ET-3702AZP-K	ET-4602BZP-K	ET-3702AZ-K	ET-4602BZ-K
ヒートポンプユニット形名				EHPE-4540K	EHPE-6040K	EHPE-4540K	EHPE-6040K
システム	適用電力制度			時間帯別電灯/季節別時間帯別電灯対応通電制御型(マイコン型)			
	電源			単相200V　50/60Hz(制御電源含む)			
	最大電流		A	17	19	17	19
	電源容量		A	20			
	年間給湯保温効率(JIS) ※1			3.4			
	寒冷地年間給湯保温効率(JIS) ※6			3.1			
	年間給湯効率(JIS) ※8			—			
	寒冷地年間給湯効率(JIS) ※9			—			
	夜間消費電力量比率 ※1		%	80			
貯湯ユニット	設置区分			屋外(防雨)/屋内兼用型			
	タンク容量		L	370	460	370	460
	タンク材質			特殊ステンレス鋼板			
	消費電力	熱交循環ポンプ ※2	W	4			
		ふろ循環ポンプ ※2	W	45			
		沸き上げポンプ ※3	W	3	4	3	4
		制御	W	4			
		凍結予防ヒータ	W	91			
	給湯温度	給湯側	℃	約32/35/37～50(1℃刻み)/55/60			
		浴そう側	℃	約35～48(1℃刻み)/60			
	沸き上げ温度		℃	「**多め**」：約75～85　「**おまかせ**」：約65～90　「**深夜のみ**」：約65～90			
	最高使用圧力		kPa	340		190	
	外形寸法　高さ×幅×奥行		mm	2,130×560×630	2,137×630×730	2,130×560×630	2,137×630×730
	質量(製品質量/満水時質量)		kg	68/438	78/538	60/430	68/528
	安全装置			漏電遮断器			
	電流ヒューズ			ヒューズ 250V 5A			
	設置可能最低外気温度		℃	−20			
ヒートポンプユニット	設置区分			屋外(防雨)型			
	中間期標準 ※3	加熱能力/消費電力	kW	4.5/0.940	6.0/1.290	4.5/0.940	6.0/1.290
		運転電流	A	5.4	7.3	5.4	7.3
	冬期高温 ※4	加熱能力/消費電力	kW	4.5/1.50	6.0/2.00	4.5/1.50	6.0/2.00
	ドレンパンヒータ消費電力		W	100			
	運転音 ※5 (音響パワーレベル)	中間期 ※3/ 冬期高温 ※4	dB	51/57	53/58	51/57	53/58
	設計圧力	高圧部/低圧部	MPa	14.0/9.0			
	外形寸法　高さ×幅×奥行 ( )は配管カバーの寸法		mm	717×825(+74)×300			
	質量		kg	54	55	54	55
	冷媒名/充填量		kg	R744(CO_2)/1.10			
	電流ヒューズ			ヒューズ 250V 25A			
	設置可能最低外気温度 ※10		℃	−25			
付属品				取扱説明書・工事説明書・保証書			

仕様表別表(JIS C 9220：2011に基づく表示)　省エネルギー法に基づく区分名、年間給湯保温効率、寒冷地年間給湯保温効率、運転音(音圧レベル)

年間給湯保温効率(JIS) ※1				3.4			
寒冷地年間給湯保温効率(JIS) ※6				3.1			
年間給湯効率(JIS) ※8				—			
寒冷地年間給湯効率(JIS) ※9				—			
区分名 ※7				21			
ヒートポンプユニット 運転音 ※5 (音圧レベル)	中間期 ※3/ 冬期高温 ※4		dB	38/44	40/45	38/44	40/45

※1～※9については32～35ページに記載。
※10 ヒートポンプユニットは−20℃から−25℃で最高80℃に沸き上げが可能ですが、タンク全量沸き上げできないことがあります。

自然冷媒(CO_2)家庭用ヒートポンプ給湯機				
高圧力型フルオートタイプ				高圧力型給湯専用タイプ
EHP-3702BX-K	EHP-3702BX-I-K	EHP-4602BX-K	EHP-4602BX-I-K	EHP-4602B-K
ET-3702BX-K	ET-3702BX-I-K	ET-4602BX-K	ET-4602BX-I-K	ET-4602B-K
EHPE-4540K	EHPE-4540K	EHPE-6040K	EHPE-6040K	EHPE-6040K
時間帯別電灯/季節別時間帯別電灯対応通電制御型(マイコン型)				
単相200V　50/60Hz(制御電源含む)				
17		19		18
20				
3.3		3.4		—
3.0				—
—				3.2
—				2.9
80				90
屋外(防雨)/屋内兼用型				
370		460		
特殊ステンレス鋼板				
4				—
45				—
3		4		
4				
91	101	91	101	91
約32/35/37～50(1℃刻み)/55/60				給湯時： 約32/35/37～50(1℃刻み) /55～75(5℃刻み) お湯はり時： 約35～48(1℃刻み)
約35～48(1℃刻み)/60				—
「**多め**」：約75～85　「**おまかせ**」：約65～90　「**深夜のみ**」：約65～90				
190				
1,825×630×730		2,137×630×730		2,137×630×730
61/431	62/432	67/527	68/528	63/523
漏電遮断器				
ヒューズ 250V 5A				
−20				
屋外(防雨)型				
4.5/0.940		6.0/1.290		
5.4		7.3		
4.5/1.50		6.0/2.00		
100				
51/57		53/58		
14.0/9.0				
717×825(+74)×300				
54		55		
R744(CO_2)/1.10				
ヒューズ 250V 25A				
−25				

取扱説明書・工事説明書・保証書

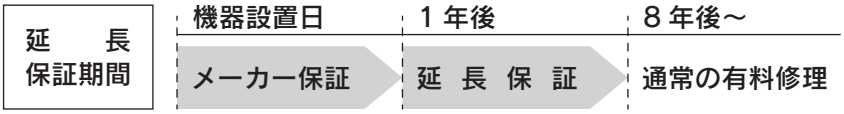
3.3	3.4	—
3.0		—
—		3.2
—		2.9
21		23
38/44	40/45	

長府製作所延長保証制度(有料)について

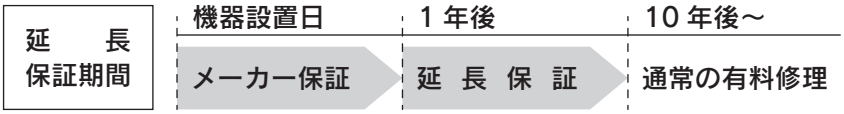
●給湯機の保証期間は「**アフターサービス**」(裏表紙)に記載の通りですが、保証期間を延長できる「**長府製作所延長保証制度**」をご用意しています。
●長府製作所延長保証制度(8年・10年)にご加入していただくためには、この保証制度の加盟店である販売店へのお申し込みが必要です。
●お申し込み有効期間は、機器設置日から翌々月末までです。

保証期間

保証期間8年の場合　機器設置日から8年間(メーカー保証期間を含む)の長期保証



保証期間10年の場合　機器設置日から10年間(メーカー保証期間を含む)の長期保証



保証内容

●延長保証期間中に対象商品が故障した場合の修理費用(技術料・部品代・出張料)を保証します。
※水質起因や凍結による故障は対象外となります。
※詳しくは「**長府製作所延長保証制度保証規定**」をご参照ください。

延長保証対象商品と保証料

自然冷媒(CO_2)家庭用ヒートポンプ給湯機　エコキュート	
8年間保証料 23,333円(税抜)※	10年間保証料 28,381円(税抜)※

※2017年4月現在(保証内容・保証料は変更する場合があります。)

●このページは空白です。

●このページは空白です。

●このページは空白です。

アフターサービス

修理を依頼するとき

●「**故障かな？と思ったら**」23～31ページをもう一度確認していただき、直らないときは、
お買い求めの販売店にご連絡ください。

お買い上げ日	年　月　日
販売店名	
	電話番号

●修理を依頼するときは、お買い上げ日と右の内容をお知らせください。
●修理料金は①技術料＋②部品代＋③出張料などで構成されています。
①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
②修理に使用した部品代金です。
③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

品名	自然冷媒（CO_2）家庭用ヒートポンプ給湯機
形名	ET- （貯湯ユニットの前パネルの銘板に記載されています。2ページ）
故障の状況	できるだけ詳しく
お名前・ご住所・電話番号・訪問ご希望日	

※お買い上げ時に　の欄に必要事項をご記入ください。

保証・修理について

●この機器には「**保証書**」がついています。
正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。
●保証期間はお買い求めいただいた日から本体が1年、冷媒装置（圧縮機、水空気熱交換器、冷媒配管回路など）が3年、タンクの水漏れが5年です。
●凍結や析出物（炭酸カルシウムなど）による故障の場合は、保証期間内でも有料になります。
●保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご連絡ください。

転居または機器を移設するとき

●転居するときはお買い求めの販売店にご相談ください。
●移設はお買い求めの販売店に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

補修用性能部品について

●補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後10年です。
性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

一般のお客様からのお問い合わせは、フリーダイヤルへ

0120-925-339
携帯電話からは **0570-666-339**
（通話料金がかかります）

お客様から取得いたしました個人情報は、お客様へのお問い合わせ対応を目的として利用し、適切に管理します。修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

※電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

修理に関するお問い合わせ　**24時間365日受付**

商品に関するお問い合わせ　平日　8:00～19:00
土日祝　8:00～17:00

愛情点検



長年ご使用のエコキュートの点検を！

こんな症状はありませんか	●お湯の出が悪い。 ●お湯が早くなくなる。 ●逃し弁から昼間、常にお湯が出る。 ●ときどき漏電遮断器が「OFF」になる。 ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、分電盤のブレーカを切り、機器の漏電遮断器を「OFF」にした後、給水元栓を閉めて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所

CHOFU 長府製作所

本社　〒752-8555　山口県下関市長府扇町2-1